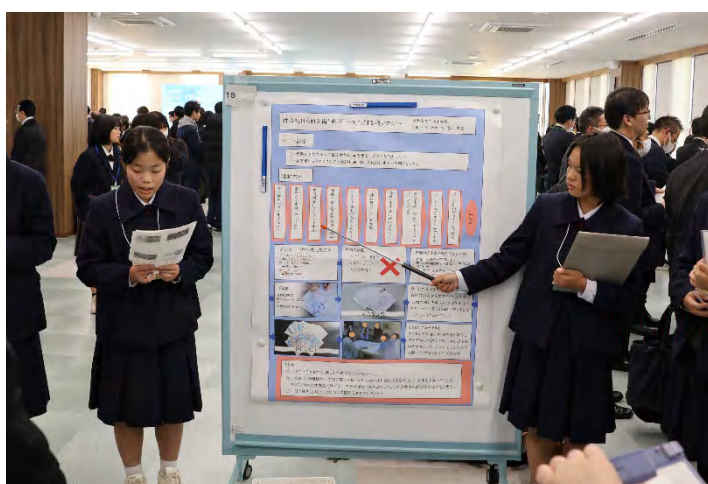




11月1日は『おかやま教育の日』
11月1～7日は『おかやま教育週間』

令和7年度 教育施策の概要

～夢に向かって、心豊かに、たくましく、未来を拓く～



[はじめに]

この冊子は、令和7年2月に策定した第4次岡山県教育振興基本計画に基づき、令和7年度において取り組む施策・事業を取りまとめたものです。

第4次岡山県教育振興基本計画では、「夢に向かって、心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成を基本目標に掲げ、誰一人取り残されない学びの実現に取り組んでいきます。

そのために、学校が誰もが通いたくなる魅力ある場所となるよう、安心して学べる環境を整えることで、子どもたちがしっかりとした基礎学力を身に付け、それぞれの個性を発揮しやすい場となるよう取組を進めます。また、子どもたちが地域や社会とつながり、主体的かつ探究的に学ぶ岡山型PBLや夢育等の充実を図ることで、自ら考え、決定できる場面を増やし、子ども真ん中の学校づくりを推進するとともに、どのような状態の子どもでも学びにつながるができるよう、多様な学びの場の整備を進めていきます。

諸施策の実施に当たっては、市町村教育委員会との相互の信頼関係の下、県教育委員会としての役割と責任において主体的な姿勢で取り組むとともに、関係機関、関係団体等とも連携を深めながら、積極的に推進してまいります。

【表紙の写真】

- | | |
|---|-------------|
| 左上：高校生「夢育」PBLフォーラム2024 赤磐市立高陽中学校の発表
住み続けられる街“赤磐”～文化財を救いたい～ | (令和6年12月撮影) |
| 右上：県立井原高校と井原市立高屋小学校児童との交流の様子
綿の魅力を伝える交流学习を実施 | (令和6年11月撮影) |
| 左下：久米南町立神目小学校における体育の授業の様子 | (令和6年11月撮影) |
| 右下：県立早島支援学校でのDXハイスクールの取組の様子
テレプレゼンスアバターロボットを遠隔操作 | (令和6年7月撮影) |

目 次

第4次晴れの国おかやま生き生きプランの概要	…	1
岡山県教育大綱の概要	…	2
第4次岡山県教育振興基本計画の概要	…	3
第4次岡山県教育振興基本計画の目標指標	…	5
小・中学校等の諸課題に対する県の支援策	…	7
県立学校の諸課題に対する県の支援策	…	9
令和7年度最重点取組項目	…	11

施策の概要

1 学ぶ力の育成

(1) 教師の授業力の向上	…	12
(2) PBLの推進	…	15
(3) キャリア教育・職業教育の推進	…	16
(4) 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり	…	18
(5) 情報活用能力の育成	…	19
(6) 就学前教育の質の向上	…	21

2 豊かな心・健やかな体の育成

(1) 道徳教育の推進	…	22
(2) いじめや暴力行為等への対策の推進	…	22
(3) よりよい社会づくりに参画する人材の育成	…	25
(4) 子どもたちの体力の向上	…	26
(5) 子どもたちの健康の保持増進	…	29
(6) 人権教育の推進	…	29

3 多様な教育ニーズへの支援の充実

(1) 「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援	…	31
(2) 不登校児童生徒等の学びの場の確保	…	32
(3) 地域と学校の協働の推進	…	35
(4) 家庭・地域の教育力の向上	…	37
(5) 特別支援教育の推進	…	39

4 グローバル人材の育成

(1) 国際的に活躍できる人材の育成	…	43
(2) 探究・STEAM教育の推進	…	44

5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

(1) 生涯学習活動の推進	…	48
(2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	…	49
(3) 読書活動の充実	…	51

6 教育効果を高める基盤や体制の整備・充実

(1) 活力ある小・中学校づくり	…	53
(2) 高等学校段階における教育の充実	…	54
(3) 企業・地域団体等との連携	…	56
(4) 子どもたちの安全の確保	…	57
(5) 学校における働き方改革の推進	…	58
(6) 魅力ある人材の確保・育成	…	59

資料編

令和6年度から令和7年度にかけての事業整理表	…	61
県予算と教育委員会予算	…	62
教職員定数	…	62
知事部局の関連事業	…	63
県教育委員会組織・分掌	…	65
教育に関する相談窓口	…	66

第4次晴れの国おかやま生き生きプラン

重点戦略Ⅰ 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現

※教育委員会関係
部分のみ抜粋

重点戦略Ⅱ 夢を育む教育県岡山の推進

1 学ぶ力育成プログラム

- 教師の授業力の向上
- キャリア教育の推進
- 情報活用能力の育成
- 就学前教育の質の向上
- PBL（課題解決型学習）の推進
- 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり
- 高等学校における学力の向上

2 徳育・体育推進プログラム

- 道徳教育の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成
- 子どもたちの健康の保持増進
- 暴力行為等への対策の推進
- 子どもたちの体力の向上
- 人権教育の推進

3 多様な教育ニーズ支援プログラム

- 魅力ある学校づくりの推進
- 不登校児童生徒等の学びの場の確保
- 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進
- 家庭教育支援チーム等による家庭・地域の教育力の向上
- 特別支援教育の充実
- 「チーム学校」による不登校等の早期支援

4 グローバル人材育成プログラム

- 国際的に活躍できる人材の育成
- 高校生の国際交流推進
- 探究・STEAM教育の推進
- 高等教育機関における実践的な人材育成等の推進

重点戦略Ⅲ 地域を支える産業の振興

3 観光振興プログラム

- 観光資源としての自然や文化の積極的な活用

重点戦略Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

2 福祉サービス推進プログラム

- 発達障害のある人のトータルライフ支援の推進

3 子ども・若者支援プログラム

- 子ども虐待防止のさらなる強化

4 防災対策強化プログラム

- 互いに助け合う地域の防災力の充実強化

6 持続可能な中山間地域等形成プログラム

- 多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進

9 生きがい・元気づくり支援プログラム

- 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化
- 生涯学習活動の推進

各戦略プログラムには、計画期間中に達成しようとする目標値として、「生き生き指標」を設定しています。

- ・■は重点施策（生き生き指標により達成度を示すことができる施策）
- ・□は推進施策（重点施策以外の施策）

岡山県教育大綱

第1 大綱の位置付け

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3第1項の規定（※）に基づき、現下の社会情勢を十分に踏まえ、本県において求められる人材像を明確にした上で、「晴れの国おかやま生き生きプラン」を基本とし、本県の実教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本方針を定めるものです。

第2 基本目標

教育をめぐる社会情勢が変化する中で、学びの原動力である夢を育みながら、自立した一人の人間としてたくましく生きる能力、自他共に尊重し、多様な他者と協働しながら主体的に社会と関わる能力、そして郷土を大切に思い、世界に視野を広げ、より良い社会づくりに参画する心を持つ人材が求められています。このため、本県では、

「夢に向かって、心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成
を基本目標とします。

第3 基本方針

基本目標の実現に向け、6つの基本方針を定め、教育委員会と連携しながら着実に教育政策を推進します。学校教育においては、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、社会と連携・協働しながら子どもたちに必要な資質・能力を育みます。

また、就学前教育から高等学校教育、さらには学校教育と職業生活等の連続性ある教育を行うための「縦」の接続、学校、家庭、地域及び専門的な知見・資源を有する大学や企業などがそれぞれの立場で社会全体の教育力を強化するための「横」の連携の視点を持ち、施策を推進します。

- 確かな学力、自ら挑戦する意欲や創造性を育みます
- 豊かな心・健やかな体を育成します
- 国際社会の一員として、主体的に活躍できるグローバル人材を育成します
- 社会の多様化に伴う様々な教育ニーズへの支援を充実します
- 生涯学習環境の整備、文化・スポーツの振興を推進します
- 教育効果を高める基盤や体制の整備・充実を図ります

※岡山県教育大綱は、上記のとおり地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定（「地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。」）に基づき、岡山県知事が定めたものです。

第4次岡山県教育振興基本計画の概要

1 策定の趣旨

県政の最上位に位置付けられる総合的な計画である「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」等に基づくとともに、「岡山県教育大綱」を踏まえて策定したものであり、社会情勢の変化や本県教育の現状と課題に鑑み、生涯にわたって学びを継続できるように、学校教育や社会教育、文化、スポーツなどの教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標とする指標を明らかにするものです。

2 基本目標

令和7年2月に改定した「岡山県教育大綱」に定める基本目標を、本計画の基本目標としても掲げ、目標の実現に向けて取組を進めます。

「夢に向かって、心豊かに、たくましく、
未来を拓く」人材の育成

3 育みたい資質能力

本県教育に課せられた使命は、教育をめぐる社会情勢が変化する中で、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間に育てることです。

そのため、その基盤となる学力や体力、規範意識や人間関係構築力に加え、意欲や自信、自己決定力や多様な他者を認めながら協力する力といった非認知能力を身に付けさせることが重要です。こうしたことを踏まえ、子どもたちに育みたい資質能力として、

- 確かな学力と自ら挑戦する意欲や創造性
- 豊かな心・健やかな体
- 地域を大切にすることと社会の形成者としての自覚

の3点を掲げ、施策を推進します。

4 計画期間

本計画の期間は、令和7年度から令和10年度までの4年間とします。

5 計画期間に取り組む施策

1 学ぶ力の育成

- (1) 教師の授業力の向上
- (2) PBLの推進
- (3) キャリア教育・職業教育の推進
- (4) 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり
- (5) 情報活用能力の育成
- (6) 就学前教育の質の向上

2 豊かな心・健やかな体の育成

- (1) 道德教育の推進
- (2) いじめや暴力行為等への対策の推進
- (3) より良い社会づくりに参画する人材の育成
- (4) 子どもたちの体力の向上
- (5) 子どもたちの健康の保持増進
- (6) 人権教育の推進

3 多様な教育ニーズへの支援の充実

- (1) 「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援
- (2) 不登校児童生徒等の学びの場の確保
- (3) 地域と学校の協働の推進
- (4) 家庭・地域の教育力の向上
- (5) 特別支援教育の推進

4 グローバル人材の育成

- (1) 国際的に活躍できる人材の育成
- (2) 探究・STEAM教育の推進
- (3) 高等教育機関における人材の育成

5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

- (1) 生涯学習活動の推進
- (2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用
- (3) 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進
- (4) 読書活動の充実

6 教育効果を高める基盤や体制の整備・充実

- (1) 活力ある小・中学校づくり
- (2) 高等学校段階における教育の充実
- (3) 特色ある私立学校教育の支援
- (4) 企業・地域団体等との連携
- (5) 子どもたちの安全の確保
- (6) 学校における働き方改革の推進
- (7) 魅力ある人材の確保・育成

第4次岡山県教育振興基本計画の目標指標

	項目	目標指標の名称	計画策定時の値 (年度)	目標値					
				R7	R8	R9	R10		
1 学 ぶ 力 の 育 成	教師の授業力の向上	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差	小6：▲1ポイント (R6.4調査)	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント	★	■
			中3：+1ポイント (R6.4調査)	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント	+1ポイント		
	PBLの推進	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	小6：80.8% (R6.4調査)	82.2%	82.8%	83.4%	84.0%	★	■
			中3：80.0% (R6.4調査)	81.2%	81.8%	82.4%	83.0%		
		全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数	806人/年 (R5)	860人/年	890人/年	920人/年	950人/年	★	
	キャリア教育・職業教育の推進	「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小6：60.4% (R6.4調査)	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%	★	■
			中3：37.5% (R6.4調査)	42.5%	45.0%	47.5%	50.0%		
		インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合	87.9% (R5)	90.8%	92.2%	93.6%	95.0%	★	■
	子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり	「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した児童生徒の割合	小6：80.4% (R6.4調査)	81.9%	82.6%	83.3%	84.0%	★	■
			中3：77.6% (R6.4調査)	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%		
		授業以外で平日に全く又はほとんど学習しない生徒の割合（高校3年生）	12.2% (R5)	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%		
	情報活用能力の育成	「1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している」と回答した学校の割合（小・中学校）	小：73.0% (R6.4調査)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	★	■
			中：63.9% (R6.4調査)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
「1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している」と回答した生徒の割合（県立高校生）		高2：81.0% (R5)	88.6%	92.4%	96.2%	100.0%			
		「生徒が端末を活用して考えなどを共有しながら学び合う活動をよく実施している」と回答した教職員の割合（県立高校）	19.4% (R5)	27.6%	31.7%	35.8%	40.0%		
就学前教育の質の向上	就学前教育に関する研修への延べ参加人数	2,583人 (R5)	2,600人	2,600人	2,600人	2,600人			
2 豊 か な 心 ・ 健 や か な 体 の 育 成	道徳教育の推進	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合	小6：45.6% (R6.4調査)	46.9%	47.6%	48.3%	49.0%	★	■
			中3：38.9% (R6.4調査)	39.8%	40.2%	40.6%	41.0%		
	いじめや暴力行為等への対策の推進	小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの暴力行為発生件数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値）	72.4 (R5)	71.5	71.0	70.5	70.0	★	■
	よりよい社会づくりに参画する人材の育成	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合	小6：84.1% (R6.4調査)	84.8%	85.2%	85.6%	86.0%	★	■
			中3：76.8% (R6.4調査)	78.2%	78.8%	79.4%	80.0%		
			県立高校生：65.8% (R6)	71.0%	74.0%	77.0%	80.0%		
	子どもたちの体力の向上	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	小5男子：72.1% (R5)	72.8%	73.2%	73.6%	74.0%	★	■
			小5女子：53.5% (R5)	54.5%	55.0%	55.5%	56.0%		
			中2男子：64.3% (R5)	65.1%	65.4%	65.7%	66.0%		
			中2女子：44.9% (R5)	45.8%	46.2%	46.6%	47.0%		
	子どもたちの健康の保持増進	「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合	小：88.1% (R5)	90.8%	92.2%	93.6%	95.0%		■
			中：86.6% (R5)	90.0%	91.6%	93.3%	95.0%		
	人権教育の推進	地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数（累計）	637人 (R5)	687人	712人	737人	762人		

	項目	目標指標の名称	計画策定時の値 (年度)	目標値					
				R7	R8	R9	R10		
3 多 様 な 教 育 ニ ズ へ の 支 援	「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援	小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値）	87.6 (R5)	86.5	86.0	85.5	85.0	★	■
	不登校児童生徒等の学びの場の確保	小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導等を受けた児童生徒の割合	78.1% (R5)	78.8%	79.2%	79.6%	80.0%	★	■
	地域と学校の協働の推進	コミュニティ・スクールを導入している公立学校の割合	69.8% (R5)	78.0%	82.0%	86.0%	90.0%	★	■
		家庭教育支援チームを設置している市町村数	16市町村 (R5)	20市町村	22市町村	24市町村	26市町村		
	特別支援教育の推進	居住地校交流を実施した児童の割合（小学部）	51.0% (R5)	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%		
4 グ ロ ー バ ル 人 材 の 育 成	国際的に活躍できる人材の育成	中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	50.7% (R5)	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%		■
		高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合	51.9% (R5)	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%		
		県立高校生の海外留学者数	359人/年 (R5)	410人/年	440人/年	470人/年	500人/年	★	
		海外の人と交流した県立高校生の割合	31.4% (R6)	32.0%	34.0%	37.0%	40.0%		
	探究・STEAM教育の推進	全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数（再掲）	806人/年 (R5)	860人/年	890人/年	920人/年	950人/年	★	
	高等教育機関における人材の育成	県内の事業所に就職した学生の割合（県立大学）（※）	48.5% (R1～R5の平均値)	49.3%	50.2%	51.1%	52.0%		
5 文 化・ 学 習 環 境 の 整 備 と	生涯学習活動の推進	生涯学習センター主催の人材育成に係る講座参加者数（累計）	490人 (R5)	1,470人	1,960人	2,450人	2,940人		
	文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	県文化施設を活用した学校数（※）	216校 (R5)	225校	230校	235校	240校		
		県有文化財施設の入場者数	113,597人 (R5)	138,800人	144,600人	150,900人	157,600人		
	生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合（※）	43.8% (R6)	49.0%	52.0%	55.0%	55.0%	★	
	読書活動の充実	子どもの不読率	小：8.9% (R5)	7.8%	6.7%	5.6%	4.5%		■
			中：25.7% (R5)	22.5%	19.3%	16.1%	12.9%		
高：51.0% (R5)			44.6%	38.2%	31.8%	25.5%			
6 体 育 の 効 果 を 高 め る 基 盤 や 制 度 の 整 備 ・ 充 実	高等学校段階における教育の充実	高校生活に満足している生徒の割合	91.1% (R6)	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%	★	
	企業・地域団体等との連携	産業界・大学等と連携した探究的な学びや課題研究を行った県立高校生の割合	74.0% (R6)	77.0%	80.0%	83.0%	85.0%		
	子どもたちの安全の確保	予告の無い避難訓練を実施した学校の割合	90.4% (R3)	92.8%	95.2%	97.6%	100.0%		
	学校における働き方改革の推進	月当たりの時間外在校等時間が45時間以内となっている教員の割合	小：58.6% (R6)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
			中：58.6% (R6)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
			高：47.8% (R6)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
特：92.6% (R6)			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			

(※) 知事部局所管の指標

★マークは、「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」にも掲げる目標指標

■マークは、対象に岡山市立学校を含む指標

※政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施について、財源や人事、組織に関する権限を有し、それに基づいて岡山市自ら目標や指標を設定し、独自の教育施策を実施しております。ここでは、県民の皆様に、岡山県全体の教育の状況をご覧いただくため、岡山市における数値も含んだ指標を設定しております。

小・中学校等の諸課題に対する県の支援策（主なもの）

指導主事等の派遣・相談

- 学校経営アドバイザー等を派遣し、管理職のビジョンと戦略づくりを支援
- 指導主事を派遣し、授業改善や授業研究の充実に向け、市町村教育委員会や学校を支援
 - 義務教育課学力向上対策班
 - 岡山教育事務所義務教育支援課、津山教育事務所義務教育支援課
- 学習指導、生徒指導、特別支援教育を柱に、学校のニーズに応じて継続的・統合的に課題改善を支援
 - 岡山教育事務所義務教育支援課、津山教育事務所義務教育支援課
- 研修支援
 - ・市町村等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上を支援 →総合教育センター教育支援部
 - ・オンライン放課後研修 →岡山教育事務所
- 学校コンサルテーション
 - ・生徒指導・特別支援教育等に関する個別ケースへの効果的な対応策や校内体制の整備等を支援
 - 総合教育センター教育支援部
- 夢育アドバイザーの派遣 →教育政策課教育企画班

学力向上の取組への支援

- 学力定着状況の把握と結果の活用支援
 - ・全国及び岡山県学力・学習状況調査の分析結果について、希望する教育委員会及び小・中学校への個別訪問等による説明の実施
 - ・学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップ、中間期学習状況調査 →義務教育課学力向上対策班
- 授業改善への支援
 - ・授業改革推進リーダー・推進員等による授業改善の推進と好実践の普及・拡大
 - ・学力調査官を招いての研修会 →義務教育課学力向上対策班
- 学力向上のための好事例の提供
 - ・学力向上担当者通信等の発信 →義務教育課学力向上対策班
- 好事例等の配信
 - ・学力向上、生徒指導等に関する好事例や指導資料を提供
 - ・学校経営や実践報告等に係るオンライン協議の場の設定→津山教育事務所義務教育支援課

地域の力の活用

- 地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進
 - ・おかやま子ども応援事業 →生涯学習課社会教育班
 - 岡山教育事務所生涯学習課、津山教育事務所生涯学習課、生涯学習センター
 - ・地域学校協働活動推進事業 →生涯学習課社会教育班
 - ・夢育パートナーズ推進事業 →生涯学習課社会教育班
- コミュニティ・スクールの導入に向けての支援
 - 義務教育課指導班、特別支援教育課指導班
 - 岡山教育事務所義務教育支援課、岡山教育事務所生涯学習課
 - 津山教育事務所義務教育支援課、津山教育事務所生涯学習課
- 小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやま まなびとサーチ」 →生涯学習課企画推進班

体力向上の取組への支援

- 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上
 - ・小学校へ体力向上推進リーダーを配置、希望する学校へ指導主事を派遣し授業改善をサポート
- 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供
 - ・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援
- 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進
 - ・中学校部活動指導員の配置、「部活動の地域移行」に向けた実証事業の実施
 - 保健体育課学校体育班

G I G A スクール構想の推進

- 教員のICT活用指導力の向上や、ICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施
 - 高校教育課教育情報化推進室

岡山県教育委員会

学力向上に関すること : 義務教育課学力向上対策班
問題行動等に関すること : 人権教育・生徒指導課
特別支援教育に関すること : 特別支援教育課
生涯学習・社会教育に関すること : 生涯学習課
支援出先機関 : 教育事務所（岡山・津山）
総合教育センター
生涯学習センター

市町村教育委員会

困ったときは、所管の市町村教育委員会に相談してください。
県のサポートが受けられます。

教職員の資質向上等

- 学校の諸課題を踏まえた専門研修の実施
- 授業実践交流サイトの設置
- 総合教育センターが制作した研修動画をホームページやYouTubeチャンネルで配信
- 子供の新たな学びの実現に資する学校管理職マネジメント力強化推進事業の実施
→総合教育センター企画部・研修部

長期欠席・不登校対策への支援

- 未然防止の取組への支援
 - ・岡山型長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく研修
 - ・登校支援員・別室支援員の配置（小のみ）
 - ・心の居場所推進プロジェクト（自立応援室の設置）
 - ・スクールカウンセラー（SC）の配置
→人権教育・生徒指導課生徒指導班、不登校児童生徒支援班
- 登校に向けた支援
 - ・研修支援・SCの配置
 - ・岡山県教育支援センター「My Place」
→人権教育・生徒指導課生徒指導班、不登校児童生徒支援班
 - ・オンライン上の居場所づくり「まんまリンク」
→総合教育センター教育支援部
- 家庭への支援
 - ・スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣
→人権教育・生徒指導課生徒指導班

学校の荒れの解消への支援

- 問題行動への対応支援
 - ・学級崩壊等への早期支援
 - ・学級サポートチームの派遣
→人権教育・生徒指導課生徒指導班
 - ・教育支援員・別室指導支援員の配置
→岡山教育事務所義務教育支援課
津山教育事務所義務教育支援課
- 家庭への支援
 - ・SSWの派遣
→人権教育・生徒指導課生徒指導班

いじめ問題への対応支援

- 未然防止や個別事案への対応支援
 - ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談
 - ・いじめ問題に関する相談・支援
 - ・心と命のサポート事業
→人権教育・生徒指導課人権教育班、生徒指導班

スマホ・ネット問題への対応支援

- ・児童生徒の主体的な活動の促進
→人権教育・生徒指導課生徒指導班
- ・教職員の指導力向上の促進
→義務教育課指導班、高校教育課指導班
- ・家庭・地域への啓発活動の促進
→生涯学習課社会教育班

特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援

- 校内支援体制整備への支援
 - ・特別支援教育エキスパートの派遣 →各県立特別支援学校
 - ・通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた実践ガイドの普及
 - ・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及
 - ・医療的ケアを必要とする児童生徒への支援及び校内体制の整備等に対し、指導医を派遣し助言を実施
→特別支援教育課指導班

教職員の心身の健康管理支援

- こころとからだの健康相談
 - ・教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施（本人、家族、管理職からの相談が可能） →相談専用電話(086-235-8349)
- 相談Cafe
 - ・研修講座の後、教職員からの相談に指導主事が対応 →総合教育センター教育支援部

上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

- 重大事態への対応の支援
 - ・緊急危機支援チームの派遣、生徒指導上の不当な要求等の対応に苦慮している学校等に対し、面談等への弁護士との同席を含んだ、弁護士への法律相談（岡山型スクールロイヤー制度） →人権教育・生徒指導課生徒指導班

県立学校の諸課題に対する県の支援策（主なもの）

岡山県教育委員会

学力向上に関すること：高校教育課指導班
義務教育課学力向上対策班
問題行動等に関すること：人権教育・生徒指導課
特別支援教育に関すること：特別支援教育課
支援出先機関：総合教育センター

指導主事等の派遣・相談

○教科の指導や各領域の教育活動、教職員の研修など、学校の教育活動全般にわたって、学校運営を支援
→義務教育課指導班、高校教育課指導班・職業指導班、特別支援教育課指導班

○研修支援

・県立学校等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上及び学校力の向上の支援を実施 →総合教育センター教育支援部

○学校コンサルテーション

・生徒指導・特別支援教育等に関する個別ケースへの効果的な対応策や校内体制の整備等を支援
→総合教育センター教育支援部

○夢育アドバイザーの派遣 →教育政策課教育企画班

学力向上の取組への支援

○基礎基本の徹底に向けた取組

・高校生の学力状況の分析

○思考力等の育成に向けた取組

・生徒の学びの場の提供
・「高い志」醸成プロジェクト
→高校教育課指導班

GIGAスクール構想の推進

・教員のICT活用指導力の向上やICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施
・情報機器やネットワークに関する教職員への技術的な支援を実施（ICT支援員の派遣等）
→高校教育課教育情報化推進室

特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援

○県立学校における特別支援教育の充実

・特別支援教育エキスパートの派遣→各特別支援学校
・通級による指導の実施
・就労支援コーディネーターの派遣
・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及
→特別支援教育課指導班

地域の力の活用

○地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進

・地域学校協働活動推進事業 →生涯学習課社会教育班
・夢育パートナーズ推進事業 →生涯学習課社会教育班

○コミュニティ・スクールの導入に向けての支援

→高校教育課高校魅力化推進室、特別支援教育課指導班

体力向上の取組への支援

○楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

・希望する学校へ指導主事を派遣し、授業改善をサポート（中・中等）

○子どもたちが達成感を感じられる機会の提供

・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援

○生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

・部活動指導員の配置、体罰・不適切な指導・ハラスメント根絶に関する研修会の開催、モデル校による暑熱対策実践研究
→保健体育課学校体育班



岡山県マスコット
「ももっち・うらっち」

問題行動等の解消に向けた支援

○未然防止の取組への支援

- ・県立学校人権教育サポート事業（中・中等・高・特）
- ・心と命のサポート事業（中・中等・高・特）
- ・1人1台端末を活用した心の健康観察事業（中・中等・高・特）
→人権教育・生徒指導課人権教育班

○問題行動・不登校等への対応の支援

- ・思春期サポート事業（中等・高）
- ・学級崩壊等への早期支援（中・中等）
- ・学級サポートチームの派遣（中・中等）
- ・高等学校における自立応援室設置促進事業（中等・高）
→人権教育・生徒指導課生徒指導班、不登校児童生徒支援班
- ・特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業（特）
→特別支援教育課指導班
- ・不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業「まんまリンク」
→総合教育センター教育支援部

○家庭への支援

- ・SSWの派遣（中・中等・高）→人権教育・生徒指導課生徒指導班
- ・特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業（特）→特別支援教育課指導班

スマホ・ネット問題への対応支援

- ・児童生徒の主体的な活動の促進（中・中等・高）
→人権教育・生徒指導課生徒指導班
- ・教職員の指導力向上の促進
→義務教育課指導班、高校教育課指導班
- ・家庭・地域への啓発活動の促進
→生涯学習課社会教育班

教職員の資質能力向上等

- 学校の諸課題を踏まえた専門研修の実施
- 総合教育センターが制作した研修動画を
ホームページやYouTubeチャンネルで配信
- 授業実践交流サイトの設置
- 子供の新たな学びの実現に資する学校管理職
マネジメント力強化推進事業の実施
→総合教育センター企画部・研修部

いじめ問題への対応支援

○未然防止や個別事案への対応支援

- ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談
- ・いじめ問題に関する相談・支援
→人権教育・生徒指導課人権教育班、生徒指導班

教職員の心身の健康管理支援

○こころとからだの健康相談

- ・教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施（本人、家族、管理職からの相談が可能）→相談専用電話（086-235-8349）

○過重労働による健康障害防止のための面接指導

- ・時間外労働時間が月80時間又は2ヶ月平均月80時間を超過する場合や健康面で不安を抱える等の場合は、所属長への申し出により職場の産業医による面接指導を実施。→福利課健康管理班

○相談Café

- ・研修講座の後、教職員からの相談に指導主事が対応。→総合教育センター教育支援部

上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

○重大事態への対応の支援

- ・緊急危機支援チームの派遣、生徒指導上の不当な要求等の対応に苦慮している学校等に対し、面談等への弁護士
士の同席を含んだ、弁護士への法律相談（岡山型スクールロイヤー制度）→人権教育・生徒指導課生徒指導班

令和7年度 重点取組項目

～学校を誰もが通いたくなる魅力ある場所とするために～

1 学ぶ力の育成

- ・【新規】研究校での生成A Iを活用した学習アシスタントアプリによる、家庭学習における個に応じた学びの支援
- ・学力定着状況確認テスト、定着状況ウォームアップ等の実施による学習内容の確実な定着
- ・「おかやま学びたい賞フォーラム」や「高校生夢育P B Lフォーラム」等の、P B Lの取組を発信し交流する場の提供

2 不登校等を生まない早期対応・多様な学びの場の確保

- ・【拡充】県立高校内の教育支援センター「My Place」を増設し、進学意欲のある不登校の中学生を支援
- ・【拡充】スクールソーシャルワーカー（S S W）を増員し、「チーム学校」による早期支援を推進
- ・【拡充】小中学校の自立応援室拡充・高校の自立応援室設置による不登校・長期欠席の未然防止と社会的自立への支援

3 グローバル人材の育成

- ・【新規】英語A I教材の活用と外国語指導助手（A L T）の増員による英語力向上の推進
- ・【拡充】海外留学生の受入数を増加し、日常的に外国語でコミュニケーションをとる機会や多様な価値観に触れる機会の促進
- ・【新規】S T E A M教育研究推進委員会を設置し、文系・理系の枠を越えた学びであるS T E A M教育を一層推進

4 学校における働き方改革のさらなる推進

- ・【新規】小学校新規採用者への非常勤講師の後補充を拡充し、勤務負担を軽減
- ・【新規】授業を担当する教頭の代わりに非常勤講師を配置し、教頭が学校全体のマネジメントに専念できる環境を整備
- ・【拡充】部活動指導員の配置拡充による、教員が本来の教育活動に専念できる環境を整備

施策の概要

○以下は、第4次岡山県教育振興基本計画の体系に沿って、それぞれの施策ごとに実施する事業を整理しています。

○対象については、一部略称で記載しており、その凡例は次のとおりです。

保：保育所 幼：幼稚園 こ：認定こども園 小：小学校(義務教育学校前期課程含む)
中：中学校(義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程含む)
高：高等学校(中等教育学校後期課程含む) 特：特別支援学校 教委：教育委員会

Ⅰ 学ぶ力の育成

(Ⅰ) 教師の授業力の向上

校長のビジョンと戦略に基づく学校経営を支援し、主体的かつ組織的な教育活動の質の向上を図る学校風土を醸成します。

また、教員の授業観の転換を図り、児童生徒に「学びを委ねる」場がある授業実践など、育成を目指す資質・能力に基づいて、子どもたち一人ひとりの状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進するとともに、授業力が高く、新たな教育課題に対応できる、不断に学び合う教員を育成します。

○学力状況の把握

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山県学力・学習状況調査	小、中 特	小学校第3～5学年、中学校第1～2学年を対象に学力・学習状況調査を実施し、全国の同学年と比較した学力状況等を把握するとともに、学年毎の経年変化を追跡・分析し、授業改善や個に応じたきめ細かい指導に活用する。 結果分析により、学習指導上の課題や学力向上施策の効果を検証し、施策の改善を図る。	68,109
学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップ	小、中	全国及び岡山県学力・学習状況調査で把握した課題の改善状況についてC B T (Computer Based Testing)方式による確認テストを学期に1回程度実施し、年度末までに課題の解消を図ることで、つまづきを翌年度に繰り越さない改善サイクルを確立する。	- (運営費で対応)
英検I B Aを活用した授業改善推進事業	中	公立中学校3年生に英検I B Aの受験機会を措置し、受験結果を基に、地区ごとにオンライン研修会・分析会を開催し、学校全体の指導改善につなげる。	5,039

○学校経営の支援

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
子供の新たな学びの実現に資する学校管理職マネジメント力強化推進事業 新規	小、中 高、特	指定校において、有識者の助言を得ながらチーム学校として、現状把握や課題設定、学校運営協議会等を含む体制づくりを行う「校内実践」を繰り返し、学校管理職の総合的なマネジメント力の強化を図るための探究型の研修プログラムを開発する。 並行して、指定校の校長と中堅教員を対象に、総合教育センターで現状把握や課題設定に関する研修を行い、研修で得られた「気付き」を校内実践することにより、教科等横断的、探究的な子供の学びを実現するとともに、多様な教育課題への組織的対応を実現する。	11,028

学校経営力向上支援事業	小、中	学校経営に優れた校長経験者を学校経営アドバイザーとして学校へ派遣し、校長の学校経営を支援することにより、学校の評価・改善サイクルの機能の促進を図り、より主体的かつ組織的な教育活動の質の向上を図る学校風土を醸成する。	- (運営費で対応)
-------------	-----	---	---------------

○授業改善の推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山大学・香川大学教職大学院への派遣	小、中高、特	大学、県市町村教育委員会との緊密な連携の下、現職教員を12名程度教職大学院へ派遣し、大学院での本県教育課題の解決に資する政策課題の研究を通して、中核的教員の育成と本県教育の充実を図る。	7,065
県立学校ICT支援員等配置事業	県立学校	授業でのICT活用や機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校へICT支援員による月1回程度の定期訪問及び臨時訪問を行う。	45,204
ICT活用指導力レベルアップ推進事業	小、中高、特	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・力量に応じた授業観の転換を意識した研修・支援を充実させ、自立した学習者の育成に資する県内の学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。	3,398
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579
多層的支援システム構築事業	小	大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づき、対象を明確化した算数の指導・支援体制を構築する。	691
Waku ^{x2} 算数推進事業	小、中	算数の課題解決に向け、大学教授や教員等で構成するプロジェクトチームを設置し、「定着状況ステップアップ」や「学力定着状況確認テスト」の問題作成を行う。 作成した問題は、業者委託により文部科学省CBTシステム(MEXCBT)に登載する。	1,723
英語コミュニケーションスキル向上事業	中	中学校の英語授業における言語活動の充実に向け、大学教授等からの指導助言を踏まえ、単元末のプロジェクト・ベースの言語活動を取り入れた授業の実践研究を行う。	148
授業改革推進チームの配置	小、中	授業改革推進チームを配置し、高い指導力を持ち優れた教育実践を行う教員を、授業改革推進リーダー・推進員として所属校のみならず、他校・地域に派遣することで、地域の授業改善や校内指導体制の確立を進め、教科指導力の向上を図る。	- (運営費で対応)
授業改革支援事業	小、中	学力の向上に向け、学力調査官等を招聘した研修会を開催するとともに、先進県等の中核教員の派遣等により、授業改善や教員の指導力向上を推進する。	9,451
教科指導支援事業	中	教科指導力の向上のため、中学校において、教科会の充実を図るための小規模校連携アドバイザーを派遣し、地域の中学校が連携した合同教科会を研究するとともに、その成果について県内への普及を図る。	1,456
英語指導パワーアッププロジェクト事業	小、中	民間教育機関を活用した実践的な研修を行い、教員の英語力向上や小・中学校の接続を意識した授業改善につながる指導力向上を図る。	3,031

学 ぶ 力 の 育 成

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
 小6 60.4% 中3 37.5% (R6.4調査)
 → 小6 70.0% 中3 50.0% (R11.4調査)

全国平均正答率との差(全国学力・学習状況調査)
 小6 ▲1.0P 中3 +1.0P (R6.4調査)
 → 小6 +1.0P 中3 +1.0P (R11.4調査)

新 夢への原動力構築事業

- ・ 幼児期の育ちと学びが小学校・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、伴走支援体制を構築

おかやま夢発信・交流事業

- ・ PBL等の取組を発信・オンラインで交流する場の提供

新 生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業

- ・ 公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援

夢を育む教育・キャリア教育の推進

学びに向かう力・人間性等の涵養

確かな学力の育成

学ぶ意欲の向上

知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力等の育成

主体的な学びの支援・充実

主体的な学びの基盤づくり事業

- ・ 放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習への支援員の配置

新 生成AIを活用した学びのサイクル実証事業

- ・ モデル校において生成AI・学習アシスタントアプリを活用し、生徒の家庭学習における個に応じた学びを支援
- ・ 家庭と学校の学びのサイクル実証

ICTを活用した英語指導の普及

- ・ 「話すこと」「書くこと」の英語力の強化に向け、MEXCBTを活用した児童生徒の個別最適な学びの支援を普及

家庭学習指導の推進

- ・ 授業改革推進チームによる家庭学習の取組の研究・実践

教員の指導力向上

授業改革推進チームの配置

- ・ 高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を他校・地域に配置

英語コミュニケーションスキル向上事業

- ・ 中学校の英語授業の充実に向けた単元末のプロジェクト・ベースの言語活動の進め方の実践・研究

英語指導パワーアッププロジェクト事業

- ・ 小・中学校の英語教員の英語力向上や小・中学校の接続を意識した授業改善につながる指導力向上を図るため、民間のノウハウを活用した実践的な研修を開催

Waku×2算数推進事業

- ・ 大学教授や教員等と連携した算数の課題に対応した問題の作成、MEXCBTへの問題搭載

定着状況ステップアップ

- ・ 小学校4～6年生の算数を対象とするCBT (Computer Based Testing) 方式による短期の定着状況の確認

分析結果に基づく指導・支援

多層的支援システム構築事業

- ・ 大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づく対象を明確化した算数の指導・支援体制の構築

学力の定着状況の確認

全国学力・学習状況調査

岡山県学力・学習状況調査

英検IBAを活用した授業改善推進事業

学力定着状況確認テスト (CBT方式)



学校経営力の強化

学校経営力向上支援事業

- ・ 学校経営アドバイザー等が市町村教委と協働して県内全ての小・中学校等を年複数回訪問し、管理職のビジョンと戦略を支援

(2) PBLの推進

子どもたちが、多様な他者との協働の下、地域の課題など自ら課題を見つけ、自己の生き方を考えながら、その課題を自ら解決する過程を通して、課題解決に必要な資質・能力を身に付けるPBL（課題解決型学習）を総合的な学習の時間等を中心に推進することで探究的な学びの充実を図り、主体性や創造性、協調性等を育み、学ぶ意欲の向上につなげます。

○義務教育段階におけるPBLの推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
夢への原動力構築事業 新規	保・幼・こ 小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区（2中学校区）において伴走支援体制を構築する。	980
生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業 新規	中	公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援し、中学生が自身の個性や創造力を伸ばす力を育成する。	2,626
おかやま夢発信・交流事業	小、中	小・中学生が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら主体的かつ探究的な学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を部門ごとに表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。	377

○高等学校段階におけるPBLの推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
サイエンスチャレンジ	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味・関心の高揚及び学力の向上を図る。また、理数科・理数系コース課題研究発表会との連携を図り、探究を深める。	3,222
科学オリンピックへの道	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。	449
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進	高	課題解決型学習（PBL）の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)
STEAM教育推進プロジェクト 新規	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000

次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見いだし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215
---------------------	---	---	-------

(3) キャリア教育・職業教育の推進

子どもたち一人ひとりの夢を育み、進学、就職、結婚、出産、育児など様々なライフイベントを踏まえた生活の在り方も視野に入れて、主体的に生涯の生活を設計したり、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方ができるよう、学校・家庭・地域・企業・大学等が連携したキャリア教育を推進し、子どもたちの学習意欲の高揚や、基盤となる能力や望ましい勤労観・職業観の育成などを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成を図ります。

また、職場体験活動やインターンシップ及び専門高校における職業教育の充実に向け、企業等に対して教育活動への積極的な協力や参画を促します。

○キャリア教育の推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校でのインターンシップ等の推進	高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。	- (運営費で対応)
高校生のためのジョブフェア	高、特	岡山労働局等と連携して、採用意欲のある企業の参加を募り、県内3会場で合同の説明会を開催し、就職を希望する生徒に、働くことの意義などを考えさせ、望ましい職業意識を身に付けさせる。	982
高校生キャリアサポート事業	高	拠点校13校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。	6,399
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進(再掲)	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)
産業界と連携した「リアルな学び」推進事業 新規	高	学校と産業界等との連携が円滑に行えるようサポートする連携コーディネーターを県教委に配置する。	1,329

次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲)	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見いだし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215
夢への原動力構築事業(再掲)	保・幼・小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区（2中学校区）において伴走支援体制を構築する。	980
生徒会による「だれもが行きたくなくなる学校づくり」応援プロジェクト事業(再掲)	中	公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援し、中学生が自身の個性や創造力を伸ばす力を育成する。	2,626
おかやま夢発信・交流事業(再掲)	小、中	小・中学生が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら主体的かつ探究的な学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を部門ごとに表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。	377
おかやま☆子ども参観日	幼・小、中 保護者	子どもが、最も身近な大人である保護者等の職場において、働く姿を見たり仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。	- (運営費で対応)
ココロうごく未来のジブン～見て・聞いて・出会って・話して～ あなたから学ぶことの楽しさを知る～ 新規	子ども	県内の社会教育施設、企業、県関係施設を子どもたちが訪れ、仕事の内容を知ると共に、そこで働く大人と対話することにより、考え方や生き方に触れ、自身が意思決定をし、未来を切り拓いていこうとする力を養う。	1,775

○職業教育の推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
高校エキスパート活用事業	高、特	高等学校において、工業、農業、語学、情報機器、理数等について専門的な知識や技能を有する民間企業や地域の人材、外国人講師等の人材を配置し、最先端の技術や知識を学習する機会を提供し、専門性の向上を図る。 また、特別支援学校において、高等部の生徒を、言語聴覚士等の立場から支援できる人材を配置し、様々なニーズへの対応を図る。	19,145

高等学校でのインターンシップ等の推進(再掲)	高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。	- (運営費で対応)
高校生キャリアサポート事業(再掲)	高	拠点校13校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。	6,399
「森林(もり)の担い手」育成事業	高	林業関連の学習を行う県立高等学校4校の生徒等を対象に、林業就業に向けた高度な技術実習等と、林業大学校や林業関係の先進地への視察を行い、将来における林業の担い手育成に資する。	1,668
高校生発!「木のぬくもり実感」事業	高、特	林業、建築、商品開発等(アイデア等の提案を含む)の学習を行う県立高等学校等の生徒が、県産森林認証材を活用した商品開発や、小中学生等を対象としたものづくり教室を行うことで、県民が県産森林認証材に触れる機会を創出するとともに、県産森林認証材のPRにつなげる。	781
産業教育等設備整備事業	高	県立高等学校の産業教育設備の整備充実を図る。	90,201
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。	- (運営費で対応)
産業界と連携した学びの充実(連携協議会の開催)	高	県内の経済6団体との包括連携協定に基づき、県立高校等における産業界と連携した専門的かつ協働的な学びの充実を図る。	- (運営費で対応)
産業界と連携した「リアルな学び」推進事業(再掲)	高	学校と産業界等との連携が円滑に行えるようサポートする連携コーディネーターを県教委に配置する。	1,329

(4) 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり

子どもたちが落ち着いた授業環境で意欲的に学ぶことができるよう、学習の基盤となる学級経営の充実に努めるとともに、小学校や中学校において、家庭学習指導の充実や、支援員の配置等による放課後等の補充学習支援を行い、基礎学力や学習習慣の定着を図ります。

また、ICTを効果的に活用しながら、子どもたちが学びに挑戦できる場を創出するなど、学校規模や地理的要因にかかわらず、子どもたちが様々な体験や交流を通して、意欲的に学習に取り組める仕組みづくりを進めます。

さらに、高等学校では、授業時間外における学習時間や、学力の二極化等の課題を踏まえ、習熟度に応じた授業や、ICTを活用した授業時間外の学習機会の充実を図るとともに、探究的な学びを充実させ、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力を持ち、学びに向かう姿勢を持った人材を育成します。

○自立的な家庭学習の充実や補充学習の支援

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
生成AIを活用した学びのサイクル実証事業 新規	中	モデル校3校において生成AIを活用した学習支援アプリを導入し、生徒の家庭学習における個に応じた学びを支援する。	2,961
主体的な学びの基盤づくり事業	小、中	公立小学校約160校、中学校約55校に、地域人材等を支援員及び指導員として配置し、放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習をサポートすることで、基礎学力や学習習慣の定着を図る。	55,641
家庭学習指導の推進	小、中	家庭学習習慣の確立に向けた取組を推進するため、授業改革推進チームが主体となり、効果的な家庭学習の取組を研究・実践する。	- (運営費で対応)

○高等学校における学力の向上

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
高校生の学力状況の分析	高	各校の学力状況を分析し、指導改善方策の検討等を行うことで、高校生の学力向上を図る。	- (運営費で対応)
「高い志」醸成プロジェクト	高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、他校の生徒と切磋琢磨する中で、「高い志」の醸成と「高い学力」の育成を図る。	1,865
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール) 拡充	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。	300,500
AIを活用した高校生の英語4技能向上プロジェクト 新規	高	指定校5校に英語AI教材を導入するほか、ALTを増員し、指定校におけるAI教材とALTによる指導の効果的な組み合わせを実証研究するとともに、県立高等学校のALT配置状況を改善し、高校生の英語力の底上げを図る。	16,211

(5) 情報活用能力の育成

すべての学習の基盤となる情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくために必要となる情報活用能力を育成するため、ICTを活用した学習活動や、基本的な操作技能やプログラミング、発達段階に応じた情報モラル等に関する指導の充実を図ります。

また、すべての教職員がICTを日常的に利活用し、子どもたちの情報活用能力の育成のための指導ができるよう、指導力向上のための研修を行うとともに、外部専門人材による支援などICTを活用した学びを進めます。

○教職員のICT活用指導力の向上、ICT環境の整備等

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立学校のICT基盤の整備	県立学校	1人1台端末やICTを効果的に活用した学習活動を展開するための学校ICT環境の整備や維持管理を行う。	383,780
GIGAスクール端末等の整備 新規	小、中 特	義務教育段階の1人1台端末等について、県に基金を造成し、県・市町村で共同調達を行うなど、計画的・効率的に端末等の整備を行う。	2,441,513
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業(再掲)	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579
生成AIを活用した学びのサイクル実証事業(再掲)	中	モデル校3校において生成AIを活用した学習支援アプリを導入し、生徒の家庭学習における個に応じた学びを支援する。	2,961
英語デジタル教科書活用実証研究事業	中	生徒の英語における4技能を伸ばすため、英語学習者用デジタル教科書の効果的な活用について、研究推進校を2校指定し、研究を行う。	747
インクルーシブ教育×ICT活用推進事業	保・幼・こ 小、中 高、特	関係者や学識経験者等を招聘してのフォーラムを開催することで、インクルーシブ教育システム構築やICT活用の推進に係る取組についての成果を総括し、合理的配慮としてのICT活用や、個別最適な学びを推進し、全県的な普及を図る。	501

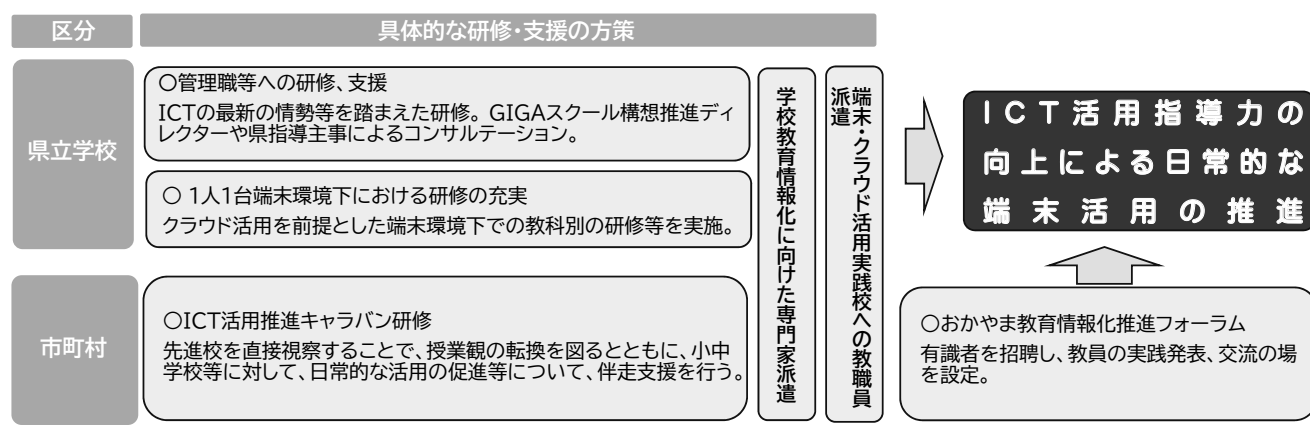
GIGAスクール構想のさらなる推進

GIGAスクール構想の実現に向け、クラウド活用を前提とした1人1台端末環境下における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教職員がいつでもどこでも安全に端末を活用できる環境づくりや、管理職・リーダー人材への研修等を通じた教職員のICT活用指導力のさらなるレベルアップを図るとともにICTを日常的に活用した児童生徒の資質・能力の育成に取り組む。

ICT活用指導力レベルアップ推進事業

現状と課題

- ・学校間・教科間での活用の差が生じており、教員等間の授業観の転換(意識改革)が必要。
- ・国が示したKPIの指標(キーボード入力の上昇など)を意識した市町村の取り組みに対する伴走支援が必要。



県立学校ICT支援員等配置事業

継続

現状と課題

- ・1人1台端末導入にあたり、新たなクラウド・無線LAN環境や端末の初期設定、障害対応等の集中的な支援が必要
- ・教職員がICTを活用した教育実践に集中的に取り組むため、支援体制強化やICT活用指導力・スキル向上が急務

全教職員が1人1台端末を効果的に活用した授業をスムーズに行うことができる！

○ICT支援員による巡回訪問支援

・69校地を月1回(半日)程度巡回

対象：全県立学校

校内セキュリティ担当者の業務をサポート

ICTを活用した教育実践に集中して取り組む環境を構築



問い合わせ・相談

臨時訪問支援

年度当初を中心に学校の要請により臨時訪問支援

関係業者・教育庁関係課等への引継

メーカー・納入業者への問い合わせ・対応や必要な設定変更・訪問支援等

○1人1台端末導入支援

専門業者による臨時訪問等により、端末導入初期を重点的に支援

ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業

継続

現状と課題

高等学校段階では、学習習慣や基礎学力定着に課題がある生徒や検定試験に挑戦する生徒、大学入試に対応する学力が必要な生徒など、学習に対する実態・ニーズの幅が大きく、個々の生徒に応じた個別最適な学びの提供が必要

事業内容

生徒の様々な実態や学習上のニーズがある県立高校3校をモデル校に指定し、ICT環境やEdTechサービスを学び直し・授業・家庭学習のあらゆる場面で活用することで、個別最適な学びを実現し、モデル校の生徒の学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用した個別最適な学びの教育効果を検証し、発信する

ターゲット 生徒の様々な実態や学習上のニーズが存在する県立高校

課題

基礎学力・学習習慣の定着が不十分

それぞれの生徒の実態に応じ、学び直しや学習指導等のサポートが必要



EdTechをモデル校のR5年度入学生へ3年間導入し、学び直し・授業・家庭学習でフル活用

EdTech事業者とも連携した進行管理・成果分析

ICTや学校現場を熟知した外部アドバイザーによる指導助言

EdTechを活用し、それぞれの生徒の課題・実態に応じた学習サポートを提供することで、個別最適な学びを実現

ICT活用による教育効果を検証し、そのメリットや効果的な手法を全県に発信！

義務教育段階におけるGIGAスクール端末等の整備

義務教育段階の端末について、県に基金を造成し、県・市町村で共同調達を行うなど、計画的・効率的に端末等の整備を進める。

(6) 就学前教育の質の向上

幼児期は、人格形成の基礎が培われる重要な時期であることから、幼稚園、保育所及び認定こども園の教職員等を対象にした研修の充実や市町村への支援等により、就学前における教育・保育の質を一律に向上させることで、就学前の子どもの生活習慣等の確立や、生涯にわたる学びの基礎となる学びに向かう力や非認知能力の涵養を図ります。

また、関係部局との連携により、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の普及等を促し、就学前の教育と保育を総合的に提供するなど、3歳児を含めた就学前教育の選択の幅を広げます。

○教職員等の資質能力の向上、小学校教育への円滑な接続

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
就学前教育推進プロジェクト	保・幼・こ小、教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。	4,671
夢への原動力構築事業(再掲)	保・幼・こ小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区(2中学校区)において伴走支援体制を構築する。	980
就学前の非認知能力育成支援事業	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。	963

2 豊かな心・健やかな体の育成

(1) 道德教育の推進

子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立したひとりの人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、「特別の教科 道德」を要として、学校の教育活動全体を通じて様々な体験活動等を交えながら、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。

また、道德科において、指導方法や指導体制等に関する実践的な研究を通して道德の授業改善を進め、その成果の普及に努めます。

○道德教育の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
道德教育総合支援事業	小、中	道德の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージの活用を図る。	206

○体験活動の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
体験活動の推進	小、中	子どもたちの豊かな人間性、社会性、規範意識等の育成に向け、成長段階に応じて、職場体験活動、自然体験活動など、多様な体験活動を推進する。	- (運営費で対応)

(2) いじめや暴力行為等への対策の推進

生徒指導上の課題を解決するため、各種の専門的な知識を有する職員の効果的な活用や支援員の配置等により、落ち着いた学習環境を確保し、子どもたちの自主的・主体的な活動の充実を図るとともに、多様な他者を認めながら協力する力等も育成し、問題行動が生じない学校づくりを進めます。また、問題行動を初期段階で把握し、早期の解決を図るため、学校における生徒指導体制の確立と、関係機関等との連携により、組織的対応を充実します。さらに、子どもの家庭環境等を踏まえ、就学前からの早期対応を行います。

その他、問題行動や非行に対しては関係機関が連携して適切に対処し、学校が警察と協働で実施する非行防止教室などを通じて、規範意識の向上に努めるとともに、少年非行情勢の改善を図ります。

○学校の組織的取組の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業	小、中高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。 また、生徒指導上の不当な要求等の対応に苦慮している学校等に対して、弁護士による法律相談を実施する。	5,903
スマホ・ネット問題総合対策推進事業	小、中高 保護者	スマホ・ネット問題について、スマホサミット開催等の児童生徒や保護者の主体的な取組の促進や成果発表等により、スマホ等の適正利用を推進する。	1,399
心と命のサポート事業 拡充	小、中高、特	児童生徒が自他を大切にすることを身に付けることができるよう、いじめや自殺の問題に直面した当事者や関係者等によるいじめの重大さや命の尊重等に関する出前授業を実施し、いじめ、不登校や自殺等の未然防止を図る。 【拡充内容】派遣回数：105回 → 135回	2,546

悩みや不安を抱えた時の匿名相談アプリ活用事業	中、高 特	アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システムを全県立学校で活用し、当事者やいじめを見かけた生徒が安心して相談できる体制を構築する。	12,278
自殺予防教育推進事業	小、中 高、特	教職員を対象とした自殺予防教育に係る講座の開催により、教職員の自殺予防に関する理解の促進及び実践力の向上を推進し、児童生徒自身の自殺等の危機を乗り越える力の養成を図り、いじめ・不登校等の未然防止や自殺等の予防につなげる。	208
学級サポートチーム派遣事業	小、中	学級がうまく機能しない状況がある公立小中学校に対して、特別支援や保健福祉等の専門家による専門指導員(学級サポートリーダー)を派遣するとともに、教育支援員を一定期間配置し、問題解決を支援する。	16,820
学級崩壊等早期対応事業	小、中	問題行動が見え始めた学校に、警察ＯＢと教員ＯＢのペアによる集中指導員等を一定期間継続的に派遣し、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	31,380
１人１台端末を活用した心の健康観察事業	中、高 特	１人１台端末を活用した心の健康観察を県立学校２０校程度に導入することにより、児童生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなＳＯＳ等の変容を早期に把握し、積極的に対応することで、不登校の未然防止を図る。	1,980

○関係機関との連携

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業(再掲)	小、中 高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。 また、生徒指導上の不当な要求等の対応に苦慮している学校等に対して、弁護士による法律相談を実施する。	5,903
スクールカウンセラー(ＳＣ)配置事業	小、中	公立全小中学校にＳＣを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー(ＳＶ)による指導助言、全体研修等を実施し、ＳＣの対応力の強化を図る。	154,829
スクールソーシャルワーカー(ＳＳＷ)を活用した行動連携推進事業 拡充	小、中 高	公立全小中高等学校を担当ＳＳＷが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、ＳＶによる指導助言や全体研修等を実施し、ＳＳＷの対応力の強化を図る。 【拡充内容】配置人数：２５人 → ２８人	219,776
思春期サポート事業	高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。	17,668

落ち着いた学習環境の整備

いじめ・暴力行為等への対策

対 象

規範意識向上に
積極的な学校

授業エスケープ等荒れの兆候が見られる学校

すべての学校

困難課題対応・重点的支援

早期発見対応・未然防止

発達支持的生徒指導

県警察

健全育成対策室

- 問題行動を起こす児童生徒への対応
- 学校への助言・支援

・非行防止、いじめ防止、ネットモラル等について警察職員による授業
・薬物乱用防止教室・あいさつ運動等

連携



県教育委員会

市町村教育委員会

- 学校の指導体制の強化
- 各校への訪問指導
・指導主事や集中指導員の派遣
- 各校の取組の好事例を普及

課題のある児童生徒への個別支援

◆学級崩壊等早期対応事業

- 集中指導員の派遣
教員OBと警察OBのペアが直接指導
- 健全育成対策室と連携した学校訪問等
- 別室指導支援員等の配置

校長OBによる
コーディネート



小学校への
対応強化

うまく機能しない状況にある
学級集団への支援

◆学級サポートチーム派遣事業

- 学級サポートリーダーの派遣
社会福祉・特別支援教育の専門家による校内指導体制等への助言
- 教育支援員等の配置

☆いじめ問題対策等総合推進

◆スマホ・ネット問題総合対策

- ・ネットいじめ等、スマホ・ネット問題に対する児童生徒による主体的な取組を全県的に推進
- ・ペアレンタルコントロール機能の周知によるスマホの適正利用の推進

◆いじめについて考える週間 ポスター・標語の募集

児童生徒のいじめ問題に対する主体的な活動をすべての学校で推進

◆ネットパトロール事業

ネット問題(いじめ・中傷・違法行為)への対策として、重点的な監視及び対応への助言

☆悩みや不安を抱えた時の 匿名相談アプリ活用事業

いじめの被害生徒等や、悩みや不安を抱えた生徒が安心して相談できる体制を構築

1人1台端末を活用した心の健康観察事業

- ・県立学校20校程度において、心の健康観察アプリを活用し、生徒の心や体調の変化を早期に発見し、適切な支援につなげる。



☆専門性の高いスタッフによる学校の取組支援

◎SC ◎SSW ◎岡山型スクールロイヤー制度(弁護士による法律相談)

【新岡山県不登校総合対策】OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト

- ・学校を子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所に
- ・子どもたち、保護者と丁寧なコミュニケーションを図る
- ・子どもたちに、多様な学びの場を用意

第4次晴れの国おかやま
生き生きプラン

第4次岡山県教育
振興基本計画

諸課題に対する
県の支援策

施策の
概要

学力の育成

豊かな心・健やか
な体の育成

多様な教育ニーズ
への支援の充実

グローバル
人材の育成

生涯学習環境の整備と
文化・スポーツの振興

教育効果を高める基盤や
体制の整備・充実

資料編

(3) より良い社会づくりに参画する人材の育成

地域社会と連携の下、学校における主権者教育やボランティア活動を推進するとともに、子どもたちの社会貢献活動への一層の理解と参加を促進し、人の役に立ち、人に感謝される体験を通して、家庭はもとより、社会の一員としてより良い社会づくりに積極的に参画していこうとする人材の育成を図ります。

また、自然・歴史・伝統・民俗・文化、人物など地域の特性に根ざした学習を学校の教育活動全体を通じて行うとともに、文化・スポーツ等の体験活動を通して、子どもたちが生まれ育った地域への理解を深めることにより、郷土愛の醸成を図り、郷土岡山の活力を生み出す人材の育成につなげます。

○主権者教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
主権者教育の推進	小、中 高	主権者としての権利と義務を自覚し、民主政治等についての理解を深めるとともに、政治や経済等の話題について多面的、多角的に考察させる探究的な学習や選挙管理委員会と連携した出前授業などを実施し、学校における主権者教育を推進する。	- (運営費で 対応)

○ボランティア活動の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校における社会貢献活動の推進	高	全ての県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程において、教育活動に位置づけた社会貢献活動を計画・実施することで、道徳性・社会性の育成を図る。	- (運営費で 対応)

○子どもたちが地域で活躍する場の創出

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で 対応)
高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業	高	高校と自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。	17,292
夢への原動力構築事業 新規	保・幼・こ 小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区(2中学校区)において伴走支援体制を構築する。	980
生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業 新規	中	公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援し、中学生が自身の個性や創造力を伸ばす力を育成する。	2,626
おかやま夢発信・交流事業	小、中	小・中学生が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら主体的かつ探究的な学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を部門ごとに表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。	377

社会教育団体による地域パワーアップ事業	子ども一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。	1,400
---------------------	-------	---	-------

○郷土愛の醸成に向けた教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
道徳教育総合支援事業(再掲)	小、中	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージの活用を図る。	206
夢への原動力構築事業(再掲)	保・幼・小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区(2中学校区)において伴走支援体制を構築する。	980
生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業(再掲)	中	公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援し、中学生が自身の個性や創造力を伸ばす力を育成する。	2,626
おかやま夢発信・交流事業(再掲)	小、中	小・中学生が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら主体的かつ探究的な学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を部門ごとに表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。	377
県立博物館の館内授業・出前講座	小、中高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展示を見学する「館内授業」や学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深める。	- (運営費で対応)
ジュニア学芸員講座	中、高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や博物館ファンを育成する機会とする。	- (運営費で対応)

(4) 子どもたちの体力の向上

子どもたちが生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現するため、学校での体育授業の充実を図るとともに、一人ひとりの実態に応じた体力づくりに取り組み、運動やスポーツをすることが好きな子どもたちを増やすことで体力の向上を図ります。

また、適切な運動部活動が展開されるよう取り組むとともに、スポーツ・武道を通じて、規範意識の向上や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

○学校体育の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
体育授業エキスパート派遣事業(県指導主事の派遣)	小、中	希望する小中学校に県指導主事を派遣し、学校における授業改善をサポートする。	- (運営費で対応)

○体力・運動習慣づくりの推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
体力アップ・マイベストチャレンジ!	小、中、特	新体力テストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。	- (運営費で対応)

みんなでチャレンジ ランキング	保・幼・こ 小、中 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	415
いきいき岡山っ子☆ 運動習慣カード	小、特	年3回、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。	- (運営費で 対応)
体力向上推進リー ダー派遣事業	小	小学校に体力向上推進リーダーを配置し、配置校教員の体育科に関する指導力向上を図るとともに、体育的活動の充実に向けた組織的な取組を行うことなどで、子どもの体力向上や運動習慣の定着を図る。	758

〇スポーツを通じた規範意識の向上等

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
中学校運動部活動支 援事業	中	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。	4,950
高等学校運動部活動 支援事業	高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。 また、県内高等学校の運動部活動のうち特に環境整備面でのサポートを必要とする学校を支援する。	11,575
「部活動の地域移行」推進事業 拡充	中	将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行に向けた実証事業等を実施し、研究成果を普及するとともに、県立中学校、中等教育学校における検討を進める。 【拡充内容】 ・実証事業実施市町村の増 7市町→12市町村程度	46,771
令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業 拡充	高	令和7年度に中国ブロックで開催されるインターハイの成功に向け、「円滑な大会運営」、「県内開催競技の競技力向上」、「大会機運の醸成」に向けた取組を実施する。	318,750
令和8年度全国中学校体育大会開催事業 拡充	中	令和8年度に中国ブロックで開催される全国中学校体育大会の成功に向け、「円滑な大会運営」、「審判員・生徒補助員等の養成」、「県内開催競技に係る選手育成」に向けた取組を実施する。	5,767
安心安全な部活動推進事業 新規	中、高	生徒自身の心と身体を守るとともに、安心安全に取り組める部活動を推進するため、体罰・ハラスメント根絶に関する研修会の実施及びモデル校による暑熱対策実践研究を実施する。	2,089

子どもたちの体力向上

1 本県の子どもたちの体力向上を取り巻く環境について

＜現状＞

- 小学生の体力が低下傾向
＜新体力テスト合計点の推移＞※()は全国平均
小5男：H27:54.8 → R6:52.8(52.5)
小5女：H27:55.6 → R6:54.0(53.9)
- 運動する子としない子の二極化
＜1週間の総運動時間数60分未満の割合＞
【R6】小5男：9.8%、小5女：17.1%
中2男：9.0%、中2女：21.6%
- ＜「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合＞
【R6】小5男：72.5%、小5女：54.7%
中2男：67.7%、中2女：45.9%
- R7インターハイ中国ブロック大会の開催
・本県開催種目：7種目
- R8全中中国ブロック大会の開催
・本県開催種目：4種目

＜要因・課題＞

- ベテラン教員の大量退職、若手教員の増加等に伴う運動に苦手意識のある教員へのフォローが不足
- 学校内外での運動時間の減少に伴う達成感・成功体験などを实感する機会の減少
- 多様化する子どもたちの運動ニーズへの対応不足
- 生徒自身が安心・安全に活動できる環境づくりが必要
- インターハイ・全中の成功に向け、計画的な取組が必要

＜解決に向けた方策＞

- (1)楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上
- (2)子どもたちが達成感を感じられる機会の提供
- (3)生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進
・「学校部活動方針」に基づく適切な運動部活動の推進
・体罰・ハラスメント根絶
・暑熱環境における熱中症対策強化
・スポーツ・文化芸術活動へ親しむ機会を確保
・インターハイ・全中開催に向けた万全の準備と競技力強化への支援

2 体力向上に向けた取組の体系

○第4次晴れの国おかやま生き活きプラン

- ・重点戦略「夢を育む教育県岡山の推進」→「徳育・体育推進プログラム」
- ・生き活き指標：『運動やスポーツをすることが好き』と回答した児童生徒の割合 【目標値(R10)】小5男：74%、小5女：56%、中2男：66%、中2女：47%

各方策の主な具体的施策

(1)楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

①体力向上推進リーダー派遣事業

- 担任教員とともに授業を行う体育授業専科教員を小学校へ派遣し、指導力の向上を図る。

②体育授業エキスパート派遣事業

- 希望する小中学校に指導主事を派遣し、授業改善をサポート

③体力向上研修会

- 新体力テスト結果等の活用に係る研修会

(2)子どもたちが達成感を感じられる機会の提供

④体力アップ・マイベストチャレンジ！

- 新体力テスト結果から子ども自らが目標を設定して結果向上にチャレンジ(上位層だけでなく、個人の伸びを評価)

⑤いきいき岡山っ子☆運動習慣カード

- ビンゴの要素を取り入れた運動習慣カードの活用

⑥みんなでチャレンジランキング

- 様々な運動遊びを行い、他の学校と結果を競う

(3)生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

⑦安心安全な部活動推進事業【新規】

- 体罰・ハラスメント根絶に関する研修会の実施 ○モデル校における暑熱対策実践研究

⑧部活動指導員配置事業

- 部活動指導員の配置により、教員の負担軽減を図るとともに、中学校の休日部活動の地域連携を進める。

⑨「部活動の地域移行」推進事業

- 部活動の段階的な地域移行に向け、市町村による実証研究を実施

⑩令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業

- 大会の準備・運営の推進 ○競技役員等の養成 ○関係機関等との連絡調整 ○高体連専門部の強化活動への支援 ○広報・高校生活動

⑪令和8年度全国中学校体育大会開催事業

- 大会の準備・運営の推進 ○先催県視察 ○競技役員等の養成 ○関係機関等との連絡調整 ○県内開催競技の選手育成への支援

楽しい！

★「運動への肯定感」の向上 ★達成感・成功体験の実感 ★部活動の環境整備

もっと、
やりたい！

運動やスポーツが好きな子どもたちの増加

★体力の向上 ★心身の健康の保持増進 ★豊かなスポーツライフの実現



(5) 子どもたちの健康の保持増進

子どもたちが健康な生活を送るために必要な力を身に付けることができるよう、がん教育、薬物乱用防止教育などの健康教育を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携による食育を推進し、学校の教育活動全体を通じて、子どもたちが望ましい生活習慣を身に付け、生涯にわたりたくましく生きるための健康づくりを進めます。

○健康教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
学校保健・食育推進体制支援事業	小、中 高、特	養護教諭・栄養教諭等に対し、資質能力の向上のための指導・助言や繁忙期等の体制強化等を行うため、退職養護教諭・栄養教諭等をサポーターとして派遣する。	1,973
がんの教育等推進事業	小、中 高、特	がんの教育とともに、性や薬物乱用に関する問題などの様々な児童生徒の現代的健康課題等への適切な対応を図るため、関係機関等との協議会を開催するとともに、研修会を開催して教職員の知識・理解を深める。	111
食物アレルギー対応推進事業	小、中 特	学校における食物アレルギーの対応状況を把握し、個別事案への指導・改善を行うとともに、事故やヒヤリハット事例の情報を集約して改善策を検討し周知を図るなど、学校給食における食物アレルギーへの適切な対応促進を図る。	109
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業	小、中 高、特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。	1,436

○食育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
食育スタンダードの活用	小、中 特	これまでのモデル研究の成果として得られた食育スタンダードに基づく指導案を実践することにより、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育を推進する。	- (運営費で対応)
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業(再掲)	小、中 高、特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。	1,436
食に関する健康課題対策支援事業 新規	小、中 特	多様化する児童生徒の食に関する課題に対し、栄養教諭を中心とした個別指導に取り組むため、研修会の開催やモデル校での実践研究を実施し、栄養教諭の個別指導能力の一層の向上を図る。	186

(6) 人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される「共生社会おかやま」の実現を目指し、学校・家庭・地域の連携の下、指導者の養成や学習に役立つ資料の作成など、人権教育を推進するための環境づくりに取り組みます。また、児童虐待やLGBTなどの性的マイノリティに対する偏見・差別などの社会的な課題も踏まえ、人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成を図り、自他の人権を守ろうとする意識や態度を向上させ、実践行動につなげる取組を進め、人権教育の充実を図ります。

○学校教育における人権教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山県人権教育推進委員会	-	学識経験者等により人権教育の在り方について審議し、本県人権教育の充実を図る。	285

人権教育推進マトリックス会議	—	教育庁内の関係課が連携して人権教育を推進するために、情報交換や施策等の調整を行う。	636
教職員研修	保・幼・こ 小、中 高、特	管理職及び人権教育担当者等を対象とした研修会を実施し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、教職員の人権意識の高揚を図る。	— (運営費で 対応)
県立学校人権教育サポート事業 拡充	中、高 特	自他の生命及び個人の尊厳等を尊重する教育を充実させ、児童生徒の人権尊重への理解や人権感覚の育成を図るとともに、心理検査を活用し一人一人が尊重され、意欲的に学習や活動に取り組むことができる学校づくりを推進する。また、県立学校における教職員の資質能力と指導力の向上を図る。 【拡充内容】心理検査担当者研修会：年１回 → 年２回 心理検査学校訪問研修会：年１５回	2,179
人権教育活動調査	小、中 高、特 教委	人権教育を総合的に推進するための基礎資料とするため、市町村及び学校における人権教育推進の状況を把握する。（人権教育推進状況報告書）	— (運営費で 対応)
指導資料整備事業	保・幼・こ 小、中 高、特 教委	人権教育を進める際に参考となる指導資料の活用等を促進するとともに、様々な人権問題に関する啓発視聴覚教材を整備し、学校・地域における人権教育の推進に資する。	1,241
研究調査事業	小、中 高、特	人権教育に関する実践的研究や教材、資料及び学習プログラムの開発等を行う。	1,940
人権学習充実拠点校事業	幼・こ 小、中 高、特	公立幼こ小中高校等各１校（園）を選考し、スーパーバイザー（ＳＶ）を招聘して、各校の人権課題を明確にした指導案作成支援や授業公開等を行う。（人権学習充実拠点校の指定等）	1,047
県立学校等児童虐待等対応研修	中、高 特	児童相談所、ＮＰＯ等との協働により、教職員の児童虐待等対応力向上のための専門的な研修を実施し、学校における児童虐待等への対応力の向上を図る。	144

○家庭・地域における人権教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
PTA指導者人権教育研修会	保護者	PTAの指導者を対象に、人権問題についての理解と認識を深めるため、人権に関する講演や実践発表、ワークショップ等の研修会を実施し、PTA指導者としての資質の向上を図る。	1,247
市町村情報提供・連絡事業	教委	市町村教育委員会人権教育担当者等を対象とした連絡会を実施し、人権教育講師バンクに講師情報を登録し、Webページ上で公開するなど、市町村への適切な情報提供を図る。	67
人権教育指導者養成講座	教委 市町村 等	様々な人権問題の解決に向けて、深い認識と実践力をもった指導者を養成する講座を実施するとともに、その修了者を対象にしたスキルアップ講座を開講することで、人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を推進する。	435

3 多様な教育ニーズへの支援の充実

(1) 「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援

長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく、不登校対策担当教員を中心とした学校の組織的な対応、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家の活用や関係機関等との連携を推進することで、子どもたちの個々の状況に応じた学習支援や生活支援の充実を図るなど、「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援を推進します。

○学校の組織的対応力の向上

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。	132,091
長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底	小、中高	「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」や「起立性調節障害対応ガイドライン」等の活用を全県で徹底する。	- (運営費で対応)
心の居場所推進プロジェクト 拡充	小、中	小学校には専属教員を1名配置、中学校には専属教員と支援員(市町村立は市町村費支援員)を各1名配置した自立応援室を設置し、教室復帰に向けた学習支援、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】自立応援室：小学校 18校 → 29校 中学校 44校 → 49校 また、県下に別室指導の成果を普及し、自立応援室の設置拡大につなげるため、別室指導推進員を派遣し、設置及び運営に対する支援を図る。	12,345 (専属教員の配置は運営費で対応)
高等学校における自立応援室設置促進研究事業 新規	高	県立高校3校程度を研究校に指定し支援員を各1名自立応援室に配置し、個々の状況に応じた生活支援等を行い、学校(教室)への復帰を目指すとともに、一時避難等により、長期欠席・不登校の未然防止に努め、今後の拡充に向けた実践研究を行う。	3,800
1人1台端末を活用した心の健康観察事業	中、高特	1人1台端末を活用した心の健康観察を県立学校20校程度に導入することにより、児童生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOS等の変容を早期に把握し、積極的に対応することで、不登校の未然防止を図る。	1,980

○専門家の活用や関係機関等との連携の促進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業(再掲)	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。	132,091
長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底(再掲)	小、中高	「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」や「起立性調節障害対応ガイドライン」等の活用を全県で徹底する。	- (運営費で対応)

心の居場所推進プロジェクト(再掲)	小、中	小学校には専属教員を1名配置、中学校には専属教員と支援員(市町村立は市町村費支援員)を各1名配置した自立応援室を設置し、教室復帰に向けた学習支援、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】自立応援室：小学校 18校 → 29校 中学校 44校 → 49校 また、県下に別室指導の成果を普及し、自立応援室の設置拡大につなげるため、別室指導推進員を派遣し、設置及び運営に対する支援を図る。	12,345 (専属教員の配置は運営費で対応)
スクールカウンセラー(SC)配置事業	小、中	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー(SV)による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。	154,829
スクールソーシャルワーカー(SSW)を活用した行動連携推進事業 拡充	小、中高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。 【拡充内容】配置人数：25人 → 28人	219,776
思春期サポート事業	高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。	17,668
教育相談員配置事業	小、中高、特 保護者	いじめや不登校の問題など、児童生徒や保護者等からの相談に適切に対応するため、青少年総合相談センターへの相談室の設置により、電話相談への24時間対応や面談で相談に応じる体制を整備する。	12,599
社会的自立サポート事業	小、中高、教 委 保護者	教育支援センター・おかやま希望学園・フリースクール等の関係機関相互の効果的な連携の在り方に関する研究等を行い、不登校児童生徒の社会的自立を支援する。	736

(2) 不登校児童生徒等の学びの場の確保

誰一人取り残されない学びの実現に向け、どのような状態の子どもでも学びにつながるができるよう、多様な学びの場を確保し、社会的自立を支援します。また、専門家や医療・福祉などの関係機関等との連携を促進します。

〇つながる多様な学びの場の充実

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業(再掲)	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。	132,091
心の居場所推進プロジェクト(再掲)	小、中	小学校には専属教員を1名配置、中学校には専属教員と支援員(市町村立は市町村費支援員)を各1名配置した自立応援室を設置し、教室復帰に向けた学習支援、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】自立応援室：小学校 18校 → 29校 中学校 44校 → 49校 また、県下に別室指導の成果を普及し、自立応援室の設置拡大につなげるため、別室指導推進員を派遣し、設置及び運営に対する支援を図る。	12,345 (専属教員の配置は運営費で対応)

高等学校における自立応援室設置促進研究事業(再掲)	高	県立高校3校程度を研究校に指定し支援員を各1名自立応援室に配置し、個々の状況に応じた生活支援等を行い、学校(教室)への復帰を目指すとともに、一時避難等により、長期欠席・不登校の未然防止に努め、今後の拡充に係る実践研究を行う。	3,800
多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業(岡山県教育支援センター「My Place」の設置) 拡充	中	県立高校内に、様々な理由で登校できないが、高校進学を目指している中学生の新たな居場所となる教育支援センターを設置し、不登校生徒の社会的自立を支援する。 【拡充内容】設置箇所数：1校 → 2校	21,755
不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業	小、中 高、特	社会と繋がることが困難な不登校児童生徒に対し、オンライン上の居場所を確保し、総合教育センターに、支援員等をスタッフとして配置して、個別又は複数での活動を通じ、不登校児童生徒の社会的自立を支援する。	7,018

不登校総合対策

対 象

不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業

- ・ 社会へつながることが困難な不登校児童生徒に対し、オンライン上の居場所「まんまリンク」を確保

多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業 **拡充**

- ・ 進学意欲のある不登校の中学生を対象とする県教育支援センター「MyPlace」を県立高校に設置 (1校→2校)
- ・ 岡山御津高校における、全日制高校に在籍したまま通信制課程の一部の科目を履修し単位修得できる新たな仕組み(フレックス制)の導入

スクールカウンセラー配置事業

- ・ 全公立小・中・義務教育・中等教育学校へ配置

スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業 **拡充**

- ・ 有資格であるSSWを全公立学校へ配置(25名→28名)

思春期サポート事業

- ・ 高校における不登校等の支援充実のための教育相談体制の強化



心の居場所推進プロジェクト **拡充**

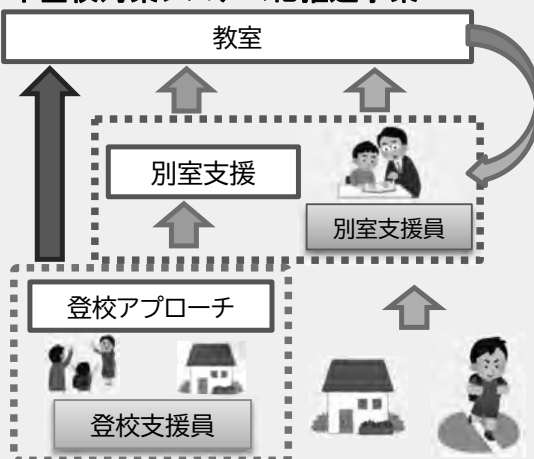
- ・ 自立応援室に専属の教員及び支援員を配置し、社会的自立に向け、個々の状態に応じた支援を実施。
- ・ 児童生徒と『つながり』を切らないためのICTを活用した不登校対策の実施



【小学校】(18校 → 29校)

【中学校】(44校 → 49校)

小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業



高等学校における自立応援室 設置促進研究事業 **新規**

- ・ 不登校等の未然防止を目的とした居場所づくりの実践研究を県立高校3校程度で実施。

1人1台端末を活用した心の健康観察事業

- ・ 県立学校20校程度において、心の健康観察アプリを活用し、生徒の心や体調の変化を早期に発見し、適切な支援につなげる。



『岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード』に基づく対応の徹底

- 登校や外出の状況等に基づき、「状態0」から、「状態6」までの7段階に区分した状態評価の導入による児童生徒一人ひとりの状態に応じた対応
- 支援対象者リスト等による長期欠席・不登校に関する情報の一元化・可視化の推進
- 『スタンダード増補版』を活用した、別室指導やICTの活用による不登校対策を推進
- ★ 不登校総合対策を踏まえ、これまでのスタンダード等をまとめた新たな冊子を作成

【新岡山県不登校総合対策】 OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト

- ・ 学校を子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所に
- ・ 子どもたち、保護者と丁寧なコミュニケーションを図る
- ・ 子どもたちに、多様な学びの場を用意

困難課題対応・重点的支援

早期発見対応・未然防止

発達支持的生徒指導

欠席が30日以上
の長期欠席・不登校
児童生徒

欠席が10～29日の児童生徒

すべての児童生徒

第4次晴れの国おかやま
生き生きプラン

第4次岡山県教育
振興基本計画

諸課題に対する
県の支援策

施策の
概要

学力の育成

豊かな心・健やか
な体の育成

多様な教育ニーズ
への支援の充実

グローバル
人材の育成

生涯学習環境の整備と
文化・スポーツの振興

教育効果を高める基盤や
体制の整備・充実

資料編

(3) 地域と学校の協働の推進

不登校児童生徒数の増加、障害のある子ども、日本語指導を必要とする子どもなど特別な配慮を必要とする児童生徒数の増加、地域社会における支え合いやつながりの希薄化など、子どもや地域をめぐる課題を解決するとともに、学校のみならず地域全体で、子どもたちの学びや成長を支えていく必要があるため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的な実施など、地域と学校の連携・協働を推進します。

○地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
コミュニティ・スクール（CS）の導入	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。	5,244
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業	教委	コミュニティ・スクール（CS）について豊かな知識と実践を有する者を「CSアドバイザー」として市町村や研修会に派遣して支援することで、CSの導入促進や質的向上等を目的とした「伴走支援」を進める。	293
地域学校協働活動推進事業 拡充	小、中 高、特 教委	地域学校協働活動アドバイザーや、各校種や対象に合わせた講師を、要望のあった市町村及び学校へ派遣し、地域学校協働本部への指導・助言を行ったり、県立学校における地域学校協働活動推進員に係る財政支援を行ったりすることで、地域学校協働活動の一層の充実と地域学校協働本部の整備率向上を図る。	7,049
PTA指導者研修会	保護者	子どもの健全な育成を図るため、講演や実践発表、情報交換等を通して、PTA活動の意義や役割を理解し、指導者としての資質を高め、PTA等の活動の充実に資する。	1,159
おかやま子ども応援事業	幼・こ 小、中 高、特	地域住民の参画による地域学校協働活動の取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。	50,132
社会教育関係団体による地域パワーアップ事業	子ども 一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体を持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。	1,400

地域ぐるみで子どもを育てる体制整備

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域が総ぐるみとなって子どもの学習や体験を充実する取組を有機的に組み合わせて、学校と家庭を支援する事業を実施することにより、地域で子どもたちを育てる体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

おかやま子ども応援事業

家庭教育支援

- ◆「親育ち応援学習プログラム」等を活用した参加型の学習機会の提供【就学前の保護者研修に重点】
- ◆地域住民による家庭教育にかかわる情報提供、相談活動等の実施
- ◆企業出前講座の実施
- ◆主に就学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭訪問等によるアウトリーチ型の支援を実施

地域学校協働活動

(地域学校協働本部)

「学校における働き方改革」を踏まえた活動
(学校支援を含む)

- ◆授業・放課後等の学習支援
学校行事支援
学校環境整備
登下校の見守り 等
- ◆学びによるまちづくり
地域行事への参画 等

放課後等の地域における
学習支援・体験活動

放課後子ども教室等

- ◆放課後の学習指導
自然体験活動支援
居場所の確保 等
- ◆中高生等を対象とした放課後等の学習支援
- ◆地域の豊かな社会資源や外部人材を活用し、体系的・継続的なプログラムの実施

連携・協働

子どもの育ち

熟議

めざす子ども像
目標やビジョンの共有

学校運営協議会

①学校運営の基本方針を承認すること

学校運営協議会の役割

②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができる

③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができる

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進

放課後児童対策パッケージ2025
(「校内交流型」「連携型」の推進等)

放課後児童クラブ【こども家庭庁】

(4) 家庭・地域の教育力の向上

関係各機関の緊密な連携により、保護者等に対して家庭教育に関する多様な学習プログラムや学習機会の提供を行うとともに、家庭訪問等による相談体制の充実に努め、企業等とも連携し、地域ぐるみですべての教育の出発点である家庭の教育力を高めることで、子どもたちがよりよい社会生活を営む基盤となる夢や目標を持ち、善悪の判断など基本的倫理観はもとより、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう推進します。

また、社会教育関係団体活動との連携により、学校教育や家庭教育の充実に努めます。

○保護者への家庭教育に関する多様な学習プログラムや学習機会の提供

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
「おかやま教育の日」関連事業	幼・こ小、中高、特	11月1日の「おかやま教育の日」から始まる「おかやま教育週間」(11/1～7)を中心に、県下全域で教育に関する様々な取組を展開することにより、教育に関する県民の意識高揚を図る。	- (運営費で対応)
就学前の非認知能力育成支援事業	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。	963
生き生きおかやま家庭教育応援事業	一般	社会全体で家庭教育を応援する気運を高めるため、市町村の家庭教育支援チームの設立促進やマンガ版「わが家のすこやか日記」作成などを実施する。	3,574
すこやか家庭相談事業	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターのスキル向上を図るとともに、家庭教育支援の取組、家庭教育支援チームの取組等を掲載した冊子「すこやか」を作成する。	346
家庭教育企業出前講座	一般	企業等を訪問して家庭教育支援に関する出前講座を実施し、家庭教育の重要性を伝える。また、子育て中の保護者や保護者を取り巻く大人の状況を把握して、今後の家庭教育支援施策の参考にする。	148

○家庭教育に関する相談体制の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
すこやか家庭相談事業(再掲)	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターのスキル向上を図るとともに、家庭教育支援の取組、家庭教育支援チームの取組等を掲載した冊子「すこやか」を作成する。	346

岡山県の家庭教育支援

社会全体で家庭教育を応援する気運の醸成と体制の構築

生き生きおかやま家庭教育応援事業（R7）

- ①家庭教育支援チーム設立促進
- ②マンガ版「わが家のすこやか日記」
- ③組織横断会議（家庭教育支援施策推進会議）
- ④「親育ち応援学習プログラム」リニューアル

市町村

<家庭教育支援チーム等>

- ・ 家庭訪問による支援
- ・ 相談対応
- ・ 専門機関への橋渡し

- ・ 学習機会の提供、コーディネート
- ・ 情報紙作成
- ・ 活動拠点でのサロン

<二次支援>
アウトリーチ型支援

<一次支援>
学びの場や情報の提供

<子育て家庭>

個別の支援が
必要な家庭

仕事等により学習機会
に参加できない家庭

家庭教育・子育てに
関心がある家庭

県

人材養成・
指導者養成

普及・啓発

- ・ 就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会
- ・ 家庭教育支援者スキルアップ講座
- ・ すこやか家庭教育相談員養成講座
- ・ ファシリテーター交流会
- ・ P T A 等指導者研修会

- ・ 「親育ち応援学習プログラム」等を活用した研修
- ・ 就学前の非認知能力育成支援事業
- ・ 家庭教育企業出前講座
- ・ 「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン
- ・ マンガ版「わが家のすこやか日記」

(5) 特別支援教育の推進

特別支援学校においては、複数の障害種に対応した適切な教育ができる体制の整備や子どもたちへの適切な指導・支援の充実を図るほか、早期からのキャリア教育の推進や域内の特別支援教育を支えるセンター的機能の一層の充実を図ります。

また、小・中・高等学校等においては、子どもたちの達成感、自己肯定感及び学習意欲を高めるため、特別支援教育の観点に基づく授業づくりや学級づくり、ICTの効果的な活用などを通じ、発達障害を含めた特別な支援を必要とする一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実や教職員の指導力の向上を図るとともに、就学前から卒業後までを一貫して支援できるよう関係機関との連携体制を強化します。

さらに、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築の理念に基づきながら、取組の充実を図ります。

○特別支援学校の教育の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
新設岡山盲・聾学校 新校舎等整備事業	特	老朽化が進む岡山盲学校及び岡山聾学校について、両校を一体化した新たな校舎等の整備に向けて、基本設計及び実施設計を行う。	83,350
免許法認定講習	小、中 高、特	特別支援学校教諭免許状取得に必要な単位を修得できる講習を実施し、特別支援学校に勤務する教員及び特別支援学級を担任する教員等の資質の向上を図る。	1,956
岡山県就労・生活支援 研究協議会	特	教育・労働・事業所等の連携により、就労による社会自立や障害の重い生徒に対する支援方策の在り方について検討する。また、原則高等部1、2年生を対象に複数の企業担当者と直接話をする機会として、「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」を開催する。	392
特別支援学校技能検定	特	児童生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、キャリア教育の充実を図る。	762
特別支援学校における 新しい教育課題研究事業	特	社会情勢の変化により特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校2校において第4次岡山県特別支援教育推進プラン等を踏まえた研究テーマに基づく実践研究を行うとともに、その成果を普及する。	1,138
特別支援学校スクール カウンセラー等配置事業	特	近年、特別な支援を必要とする児童生徒が抱える問題も多様化・複雑化していることから、SCを全特別支援学校に配置し、生徒・保護者へのカウンセリングや教職員への助言を行い、教育体制の充実を図るとともに、必要に応じてSSWを派遣する。	3,518
医療的ケア充実事業	特	特別支援学校において、たんの吸引や経管栄養等の日常的医療的ケアに係る看護師及び教員等の専門性を高めることにより、医療的ケアの実施体制の充実を図る。	1,769
高等支援学校等就労 支援充実事業	高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	6,677
特別支援学校経営予算	特	校長の裁量権の拡大や経営能力の向上を図るとともに、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校教育の質の向上を図る。	7,979
特別支援学校教員専門 研修	特	外部専門家を活用した専門的な研修を実施し、特別支援学校教員の専門性の向上とともに、特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。	830

○小・中・高等学校等における特別支援教育の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立高等学校等への特別支援教育支援員の配置	中、高	県立高等学校等に在籍する障害のある生徒に対し、障害の程度に応じ、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助等の支援を行う。	17,190
特別支援教育エキスパート派遣事業	保・幼・こ 小、中 高、特	特別支援学校教員のうち専門性の高い者を特別支援教育エキスパートとして指定するとともに、スーパーバイザーとして大学教員等特別支援教育の専門家を専門家チーム員として委嘱し、全ての学校種を対象に学校等からの要請に応じて派遣することにより、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制の整備を図る。また、長期療養中の児童生徒も対象とするとし、県立高等学校等への積極的支援を行う。	1,729
通級による指導パワーアップ事業	中、高	特別な支援を必要とする生徒の教育的ニーズに的確に応えることのできる、連続性のある多様な学びの場の充実・整備を一層進めるため、通級指導担当者の育成と配置及び専門性の向上について研究を行い、その成果を普及することで、通級による指導の充実を図る。	602
特別支援学級担任専門性向上事業	小、中	市町村教育委員会が指定する小・中学校の特別支援学級において、ICT(特別支援教育ソフト)を活用して学級担任の専門性の向上を図るとともに、実態差のある児童生徒に個別最適化した学びを保障するための実践研究を市町村で行う。	946
高等支援学校等就労支援充実事業(再掲)	高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	6,677
特別支援学校教諭免許状取得促進事業	小、中	教育職員免許法に基づく免許法認定講習を増設し、特別支援学級担任等の特別支援学校教諭免許状の取得を促進するとともに、専門性の向上を図る。	143
幼稚園等における特別支援教育パワーアップ事業 新規	保・幼・こ	推進市町(2市町)を指定し、就学前における特別支援教育を、市町村内で中心的に推進する拠点となる幼稚園(拠点園)の支援体制の整備及びその周辺園の支援体制の整備について伴走支援を行う。	1,329
高校通級スペシャル応援団派遣事業 新規	高	通級による指導をさらに充実させるとともに、高等学校等における特別支援教育体制の推進を図るため、高校通級実施校に、学識経験者、作業療法士等から編成される専門家チームを派遣し、通級指導対象生徒に係る適切な実態把握とそれに基づく指導・支援を行う。	1,003

○切れ目のない支援の充実と教職員の専門性の向上

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
おかやまインクルーシブな学校運営モデル事業 新規	特、小 中、高	インクルーシブ教育システムの構築に向け、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が交流及び共同学習を発展的に進め、一緒に教育を受ける状況と、柔軟な教育課程及び指導体制の実現を目指した実践研究を行う。	5,441
居住地校交流充実事業	小・特	交流及び共同学習において、県立特別支援学校全校で「交流籍」の制度を導入し、障害のある子どもと障害のない子どもとの間での交流活動を促進する。	558
特別支援教育教育課程等協議会	保・幼・こ 小、中 高、特	特別支援学校学習指導要領やインクルーシブ教育システム構築に向けたポイント、特別支援教育の推進に関する課題等について協議することにより、教職員の指導力の向上と教育課程の改善を図る。	83

広域特別支援連携協議会	保・幼・こ 小、中 高、特	医療、保健、福祉、労働、教育等の関係部局、大学、医師会及び保護者の会が相互の連携を図り、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対し総合的な教育的支援を行うことを目的とした協議会を開催する。	106
インクルーシブ教育×ICT活用推進事業	保・幼・こ 小、中 高、特	関係者や学識経験者等を招聘してのフォーラムを開催することで、インクルーシブ教育システム構築やICT活用の推進に係る取組についての成果を総括し、合理的配慮としてのICT活用や、個別最適な学びを推進し、全県的な普及を図る。	501
特別支援学校における新しい教育課題研究事業(再掲)	特	社会情勢の変化により特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校2校において第4次岡山県特別支援教育推進プラン等を踏まえた研究テーマに基づく実践研究を行うとともに、その成果を普及する。	1,138

各発達段階ごとの特別支援教育の充実

幼稚園・保育所・認定こども園

★発達障害等のある幼児の早期発見・早期対応と小学校段階への円滑な接続

【継続】

◎特別支援教育エキスパート派遣事業

- 発達障害等のある幼児及び教職員支援
- 大学教員等の専門家チーム員を派遣
- 長期療養中の児童生徒等への支援

【新規】

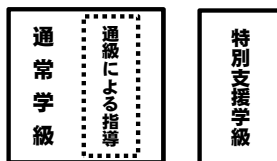
◎幼稚園等における特別支援教育パワーアップ事業

- 就学前における特別支援教育を推進する拠点となる幼稚園等の体制整備に関する実践研究

小学校・中学校

- ★通常学級における特別支援教育の指導力の向上と高い実践力を持った教員の養成
- ★授業のユニバーサルデザイン化と児童生徒の多様性を踏まえた学級づくり
- ★多様な学びの場の整備

小・中学校における学びの場



【継続】

- ◎特別支援学校教諭免許状取得促進事業
 - 教育職員免許法に基づく免許認定講習を増設
- ◎特別支援教育エキスパート派遣事業
 - 発達障害等のある児童生徒及び教職員派遣
 - 大学教員等の専門家チーム員を派遣
 - 長期療養中の児童生徒等への支援
- ◎特別支援学級担任専門性向上事業
 - 実態差のある児童生徒に個別最適化した学びを保障するためのICT(特別支援教育ソフト)活用のあり方の研究

高等学校

- ★障害特性に応じた指導・支援
- ★通級指導の導入に向けた実践的な取組
- ★進路指導の充実による確実な就労支援

【継続】

- ◎特別支援教育エキスパート派遣事業
 - 特別支援教育エキスパート派遣の巡回相談による特別支援教育推進のための体制の強化、教職員全体の専門性の向上
 - 病気療養児への復学支援等
- ◎通級による指導パワーアップ事業
 - 通級指導担当者の育成と配置
 - 専門性の向上の研究

<その他の取組>

- ◎高等支援学校等就労支援充実事業
 - 就労支援コーディネーター

【新規】

- ◎高校通級スペシャル応援団派遣事業
 - 外部専門家を活用した指導・支援

特別支援学校

- ★発達障害を含む様々な障害や新たな課題に対応するための指導力の向上
- ★就労支援体制とキャリア教育の充実
- ★特別支援教育のセンター的機能の充実

【継続】

- ◎特別支援学校技能検定
 - 小学部から高等部までの発達段階に応じた技能検定の実施
- ◎居住地校交流充実事業
 - 「交流箱」の制度を導入し、障害のある子どもと障害のない子どもとの間での交流活動を促進
- ◎ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～
 - 特別支援学校高等部生徒が企業担当者と直接話す機会の提供
- ◎特別支援学校における新しい教育課題研究事業
 - 生涯学習の充実、自立活動の指導の充実に関する実践研究
- ◎スクールカウンセラー等の配置
- ◎医療的ケア充実事業
 - 指導医派遣等により医療的ケアの実施体制を充実
 - 医療的ケアニーズに応じるための知識・技能を修得できる看護師研修の充実
- ◎高等支援学校等就労支援充実事業
 - 就労支援コーディネーターによる就労先等の開拓と公立高等学校への支援
- ◎特別支援学校教員専門研修
 - 外部専門家を活用した特別支援学校教員への専門研修を実施

【新規】

- ◎おかやまインクルーシブな学校運営モデル事業
 - 柔軟な教育課程及び指導体制に関する実践研究

指導・助言（センター的機能）

就学前段階

義務教育段階

高等学校段階

特別支援教育エキスパート（特別支援学校教員）専門家チーム員の派遣
インクルーシブ教育×ICT活用推進フォーラム等による理解啓発と取組の普及
個別的教育支援計画等の作成・活用による合理的配慮の提供及び情報の引継ぎ

特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参加

4 グローバル人材の育成

(1) 国際的に活躍できる人材の育成

グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、異文化を理解する精神等を身に付けた人材の育成を目指し、子どもたちが英語に触れる機会の増加、高校生の海外留学やICTを活用したオンラインによる国際交流の促進及び英語教育の充実による英語活用力の向上を図ります。

また、地域を学ぶ機会や伝統文化・芸能に親しむ機会を充実することで、我が国や郷土の伝統・文化を深く理解し、その継承・発展に努め、世界に発信する姿勢を育みます。

○児童生徒の英語力の向上

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
外国語教育指導強化 対策事業	中、高 特	外国語教育及び国際理解教育の一層の充実を図ることを目的として、外国語指導助手(ALT)を県立学校に計画的に派遣するとともに、韓国慶尚南道との交流を通じ、中学生を対象とした国際交流を推進する。	103,932
オンライン国際交流 コーディネーター配 置事業	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。	1,621
AIを活用した高校 生の英語4技能向上 プロジェクト 新規	高	指定校5校に英語AI教材を導入するほか、ALTを増員し、指定校におけるAI教材とALTによる指導の効果的な組み合わせを実証研究するとともに、県立高等学校のALT配置状況を改善し、高校生の英語力の底上げを図る。	16,211
夢に向かって世界に 羽ばたけ！岡山の高 校生応援事業 拡充	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 日常的に外国語でコミュニケーションをとる機会や多様な価値観に触れる機会を増加させるため、海外からの留学生受入支援金の対象者を増加。	20,972
英検I B Aを活用し た授業改善推進事業	中	公立中学校3年生に英検I B Aの受験機会を措置し、受験結果を基に、地区ごとにオンライン研修会・分析会を開催し、学校全体の指導改善につなげる。	5,039
英語デジタル教科書 活用実証研究事業	中	生徒の英語における4技能を伸ばすため、英語学習者用デジタル教科書の効果的な活用について、研究推進校を2校指定し、研究を行う。	747

○海外留学や国際交流の促進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
夢に向かって世界に 羽ばたけ！岡山の高 校生応援事業(再掲)	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 日常的に外国語でコミュニケーションをとる機会や多様な価値観に触れる機会を増加させるため、海外からの留学生受入支援金の対象者を増加。	20,972

オンライン国際交流 コーディネーター配 置事業(再掲)	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。	1,621
次世代おかやま「夢 育」ネットワーク事 業	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215

○我が国や郷土の伝統・文化を理解する教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
道徳教育総合支援事業	小、中	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージの活用を図る。	206

(2) 探究・STEAM教育の推進

新しいものを創り出す創造力や、他者と協働しチームで問題を解決するといった能力等の育成に向け、児童生徒が主体的に課題を自ら発見し、多様な人々と協働しながら課題を解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習の充実を図ります。

○科学技術教育の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
スーパーサイエンス ハイスクール事業	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について、県立学校4校を指定し研究する。	6,530
サイエンスチャレンジ	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味・関心の高揚及び学力の向上を図る。また、理数科・理数系コース課題研究発表会との連携を図り、探究を深める。	3,222
科学オリンピックへの道	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。	449
理科教育等設備整備事業	県立学校	各学校の理科教育等設備を国庫補助により整備し、県立学校の理科教育の振興を図る。	19,000

STEAM教育推進 プロジェクト 新規	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
---------------------------	---	--	--------

○教科横断的な学びの充実

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
STEAM教育推進 プロジェクト(再掲)	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲)	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)

○デジタル人材の育成

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。	- (運営費で対応)
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール) 拡充	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。	300,500
STEAM教育推進 プロジェクト(再掲)	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
ICT活用指導力レベルアップ推進事業	小、中高、特	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・力量に応じた授業観の転換を意識した研修・支援を充実させ、自立した学習者の育成に資する県内の学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。	3,398

県立学校 I C T 支援員等配置事業	県立学校	授業での I C T 活用や機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校へ I C T 支援員による月 1 回程度の定期訪問及び臨時訪問を行う。	45,204
県立学校の I C T 基盤の整備	県立学校	1 人 1 台端末や I C T を効果的に活用した学習活動を展開するための学校 I C T 環境の整備や維持管理を行う。	383,780
I C T 活用による個別最適な学習推進モデル事業	高	モデル校 3 校で Edtech サービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579

第4次晴れの国おかやま
生き生きプラン

第4次岡山県教育
振興基本計画

諸課題に対する
県の支援策

施策の
概要

学力の育成

豊かな心・健やか
な体の育成

多様な教育ニーズ
への支援の充実

グローバル
人材の育成

生涯学習環境の整備と
文化・スポーツの振興

教育効果を高める基盤や
体制の整備・充実

資料編

STEAM教育の推進

生徒が高い意欲をもって学習し、自身の可能性や能力を最大限伸長できるよう、各教科等の学びを豊かなものにしつつ、探究的な学び・STEAM教育等の文理横断的な学び・実践的な学びの推進が必要

デジタル等成長分野を支える人材

STEAM教育の充実

SSH

(スーパーサイエンスハイスクール)

- ・ 科学技術、理科・数学教育に関する研究開発等を行う高等学校

- ・ 理科・数学等に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施
- ・ 国は、研修・講師費用等、研究開発に必要な経費を支援

【4校】

岡山一宮・倉敷天城・玉島・津山

DXハイスクール

- ・ 情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校

<具体の取組例>

- ・ 情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進
- ・ 情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
- ・ デジタルを活用した文理横断的な探究的な学びの実施

【R6探択校】

(公立19校)

岡山朝日・岡山操山・岡山芳泉・岡山城東・西大寺・瀬戸・倉敷青陵・倉敷南・倉敷古城池・玉野・玉野光南・笠岡・総社南・高梁・新見・勝山・林野・岡山大安寺中等・早島支援

(私立5校)

関西・方谷學舎・岡山学芸館・創志学園・就実

スマート専門高校

- ・ デジタル化対応装置の環境を整備し、最先端の職業教育を行う専門高校

【延べ46校】

農業：高松農業・興陽・瀬戸南・真庭新見・勝間田・井原・高梁城南

工業：岡山工業・東岡山工業・倉敷工業・水島工業・津山工業・笠岡工業・高梁城南・新見

商業：西大寺・岡山東商業・岡山南・倉敷鷺羽・倉敷商業・新見・玉島商業・津山商業・笠岡商業・勝山・矢掛・邑久・和気閑谷

家庭：興陽・瀬戸南・岡山南・倉敷中央・津山東・総社・高梁・井原

看護：倉敷中央・津山東・真庭情報：玉野光南

福祉：倉敷中央

総合：岡山御津・鴨方・備前緑陽・勝間田

研究開発
の
改善

成果
の
発信普及

取組
の
深化

情報
共有
ネット
ワーク
構築

取組
の
深化

情報
共有
ネット
ワーク
構築

STEAM教育研究推進委員会

県による域内横断的な取組

- ・ STEAM教育に関わる学校（SSH・DXハイスクール・スマート専門高校）・大学・企業等、多様なステークホルダーで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置
- ・ 高校段階、大学段階、社会人で身に付けておくべきSTEAMの要素について議論・共有するとともに、高校段階でどのような学びが必要かを研究（岡山県のSTEAM教育）
- ・ 各校の取組の効果検証のため、生徒による発表等を実施

企業

大学等

5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

(1) 生涯学習活動の推進

すべての県民のウェルビーイングを目指し、人生の各場面で生じる個人や社会課題の解決につながる学習機会が保障され、学ぶことで充実感を得て継続的な学びにつながるよう、生涯学び、活躍できる環境の整備を図ります。

さらに、県生涯学習センターを中心に、公民館やNPOなど、多様な主体との連携・協働を進めるとともに、県立図書館と市町村立図書館のネットワークの充実等を図ることにより、生涯学習活動を支援する環境づくりを推進します。

また、学びを生かした地域活動への参画を通して、より良い地域社会を形成し、郷土岡山の発展を支えられるよう、学習成果の活用に向けた取組の充実を図ります。

○生涯学習活動を支援する環境づくり

R 7の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山県生涯学習大学事業	子ども 一般	連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、多世代にわたる総合的な学習機会を提供する。	1,521
JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携事業	子ども 教職員 一般	JAXAと連携して、「宇宙」を素材とした子ども・親子対象の学習プログラム等を展開し、子どもたちの科学や自然に対する興味・関心を高め、豊かな科学的素養を育む。	1,245
「ばるネット岡山」による情報提供	一般	県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実を図り、県民の生涯学習を支援する。	- (運営費で対応)
人と科学の未来館サイピアの運営	一般	学校教育との連携により、創造性豊かな人材を育成するとともに、幅広い世代の体験・交流を生み出す場を提供することで、県民の科学に対する興味・関心、知的探究心等を高め、豊かな科学的素養を育む。	73,053
図書資料の整備	一般 子ども	県民の資料要求に応えるとともに、市町村立図書館等のサービス活動を支援するため、児童図書を全点購入するなど新刊図書や視聴覚資料を整備する。 また、おかやま森づくり県民税や産業廃棄物処理税を活用し、森林に関わる図書資料や環境教育・環境学習に関わる図書資料を整備する。	75,990
図書館職員等研修講座	図書館 職員等	県内の図書館関係職員を対象に、必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。	311
岡山県公立図書館ネットワーク構築事業	一般 子ども	市町村立図書館等と連携・協力しながら、資料の検索や搬送(週2回)を充実させるとともに、高等学校図書館等への搬送事業(週1回)を実施するなど、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る。	14,212
社会教育に関する調査研究	一般	社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い、その成果や実践例・学習プログラム等を市町村や関係団体等に普及するとともに、次年度以降の研修や施策にも反映させる。	297
青年の家運営	小、中 高、特 一般	心身ともに健全な青少年の育成を図るため、県渋川青年の家及び県青少年教育センター閑谷学校において指定管理者制度による、民間のノウハウを活用したプログラムを提供することにより、自然体験活動の充実を図る。	198,379
小・中学生の学びのコンテンツサイト 「おかやま まなびとサーチ」夢育コンテンツ強化事業 拡充	小、中 特	子どもたちが主体的に学び、将来の夢を育むことができるよう、県内社会教育施設等や県内の民間企業の持つ教育資源を活用した学習用動画や、お仕事紹介動画等を15本程度作成するとともに、動画の検索機能を改修するなど「おかやま まなびとサーチ」の夢育コンテンツの強化を図る。	6,825

○学習成果の活用とより良い地域社会の形成

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立図書館とことん活用講座	一般	県立図書館の特色である主題別6部門の専門性を生かし、関係機関等と連携して様々なテーマで特色ある講座を開催することで、県民の課題解決を支援するとともに、図書館活用の拡大を図る。	246
生涯学習・社会教育関係職員研修講座スキルアップ研修ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	一般市町村等	事業の重要な要素となるファシリテーションやコーディネーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、生涯学習・社会教育関係者のネットワークづくりを図る。	349
生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修	市町村等	県内市町村の生涯学習・社会教育関係職員等を対象に、地域課題の把握や解決方法を得るために必要な知識・技能習得に向けた研修会を開催し、豊かな地域社会づくりの中核的役割を担う職員等の育成を図る。	120
社会教育主事講習[B]	一般市町村等	社会教育主事への任用を見据え、地域における社会教育全体を俯瞰し、その調整を職務と担うことができる社会教育行政の人材を養成すると共に、専門性と社会教育の知見を様々な場に活かす学びのオーガナイザーとしての活躍が期待される社会教育士を養成する。	384
生涯学習・社会教育関係職員研修講座スキルアップ研修主体的に参画する住民を育てるための事業づくり	一般市町村等	市町村の社会教育・生涯学習担当職員や公民館職員等を対象に、地域課題を把握・解決するために地域住民が主体的に関わる事業を企画・立案・実践し、多様な人材を社会教育の活動に巻き込み、連携していくコーディネート力など、社会教育に携わる資質の向上を図る。また、学びや活動と参加者をつなぎ、地域の学びと活動を活性化する多様な人材の活躍を後押しする。	431
高校生×地域－思いをカタチにするお手伝いをします－	市町村等	市町村の社会教育・生涯学習関係部署や公民館等を対象に、高校生と市町村行政担当部署、また企業やNPO等をはじめとした地域の団体と連携・協働し、高校生とともに地域の課題を解決に繋げていく社会教育の視点を取り入れた事業の推進を図る。	140

(2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用

県立美術館などの文化施設において優れた文化芸術に触れる機会を創出し、また、子どもから大人までが様々な文化に興味を持ち、親しみながら、県民が文化活動に参加できる環境づくりを進め、文化活動の裾野の拡大を図るとともに地域文化の担い手の育成を推進します。

市町村、文化団体、NPO、大学等と連携し、特色ある文化資源や新たな創造活動等を活用し、文化の力による地域の賑わいの創出を促進します。

また、子どもたちをはじめ、より多くの県民が郷土の文化遺産に触れ、学び、親しむことができる機会の充実に努め、その着実な保存・継承と積極的な活用を図ります。

○文化に親しむ環境づくり

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校総合文化祭等	中、高特	他県との発表・交流の場である全国高等学校総合文化祭への派遣等を行い、芸術文化活動の発展を図るとともに、情操豊かな子どもたちの育成を図る。	4,237
音楽公演	小、中高、特	県内の学校等において、室内楽公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。	2,655

学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業	小、中高、特	子どもたちが、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップや団体等との共演に参加し、優れた舞台芸術に身近に触れる機会を提供する。	— (国費)
「部活動の地域移行」推進事業 拡充	中	将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行に向けた実証研究等を実施し、研究成果を普及させるとともに、県立中学校、中等教育学校における検討を進める。 【拡充内容】 ・実証研究実施市町村の増 7市町村→12市町村程度	46,771

○文化の力による地域づくりや担い手の育成

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山県祭り・行事調査事業 新規	一般	県内の祭り・行事の現況を把握する総合調査を実施し今後の無形民俗文化財の保護施策の基礎資料とする。加えて、調査結果を地域活力の再生や観光振興に取り組む機関等へ提供し、新たな担い手の創出や地域振興に繋げる。	7,483

○文化財の保存・活用

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
文化財保護保存事業	一般	国・県指定文化財の保存・活用に要する経費の一部を補助する。 安住院仁王門保存修理（岡山市）、熊野神社本殿保存修理（倉敷市）他	79,460
「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	一般	吉備路の総合的な整備・活用に向けて、その価値付けを行うために史跡備中国分尼寺跡等の調査研究を実施し、情報発信等を進める。	17,251
無形文化財支援事業	一般	無形文化財の「わざ」の伝承を推進するとともに、技術保持者相互の交流を図るため、各分野ごと及び分野を横断した研修会を実施する。	100
埋蔵文化財公開活用事業	一般 子ども	埋蔵文化財の普及・啓発・人材育成を行う。 ・文化財座談会 ・吉備の考古学講座 ・津島遺跡やよいまつり ・夏休み企画☆ワクワク古代体験！ ・吉備路ウォーク ・吉備の史跡を巡る ・ジュニア解説員の育成 ・刊行物の発行 (戦国争乱と中世城館・史跡備中国分尼寺跡)	2,000
岡山県祭り・行事調査事業(再掲)	一般	県内の祭り・行事の現況を把握する総合調査を実施し今後の無形民俗文化財の保護施策の基礎資料とする。加えて、調査結果を地域活力の再生や観光振興に取り組む機関等へ提供し、新たな担い手の創出や地域振興に繋げる。	7,483

○県立博物館の機能充実等

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
博物館活動	一般	【特別展】 ・「花ござ 心おどる い草の世界」 (R7(2025).10.10～11.23) 岡山県は花ござの産地として世界的に有名であり、昭和39年にはい草の作付面積が全国1位となり、名実ともに日本一の産地として興隆を極めた。岡山県が世界に誇り、県民にとっては懐かしい花ござに焦点をあて、魅力的なデザインや優れた生産技術とあわせて振り返る。 ・「岡山の文化と出会うー宗教美術から超絶技巧までー」 (R7(2025).11.28～R8(2026)3.8) 県立博物館は岡山の歴史と文化を伝える施設として、開館からまもなく55周年を迎える。県内ゆかりの仏画・仏像や文人画、甲冑や名刀等、岡山県を代表するような資料を、一堂に公開する。 【テーマ展】 ・学芸員の調査研究成果を発表する場として、県民にとって魅力あるテーマやメッセージ性のあるテーマを設定した展示を行う。	13,011
県立博物館の館内授業・出前講座	小、中高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展示を見学する「館内授業」や学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深める。	- (運営費で対応)
ジュニア学芸員講座	中、高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や博物館ファンを育成する機会とする。	- (運営費で対応)

(3) 読書活動の充実

県民が生涯にわたって読書に親しむことができる環境を充実させ、本を読む楽しさだけでなく、必要な知識・情報を得て、読書を通して知識や人とのつながりが広がることを支援します。

とりわけ、子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことができないものであることから、家庭や学校、地域が一体となって、子どもの読書習慣の形成を図るとともに、県立図書館の子ども読書活動推進センター機能を活用した読書活動の支援に取り組みます。

また、岡山県読書バリアフリー計画等に基づき、障害の有無に関わらず、誰もが等しく読書に親しむことができるよう、多様なニーズに配慮した読書環境の充実整備に努めます。

○発達段階に応じた読書への関心の喚起

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
発達段階に応じた読書への関心の喚起	幼など小、中高、特	生涯にわたる読書習慣の基盤形成に向けて、就学前からの読み聞かせ等の促進や、PBLによる探究的な学習活動等での学校図書館や地域の図書館等の利活用など、乳幼児期から切れ目のない、子どもの読書への関心を高める取組の充実を図る。	- (運営費で対応)
子どもの読書の実態に関する調査	小、中高	岡山県下における子どもの読書実態の現状把握のため、小・中学生・高校生等の不読率調査を実施する。	- (運営費で対応)
「県立図書館フェスタ」事業	一般子ども	県立図書館を会場に、県民が読書に親しむきっかけを作る行事を行い、読書活動を推進するとともに、企画展示等の実施により県立図書館や県の魅力ある情報を発信する。	481

図書館職員等研修講座(再掲)	図書館職員等	県内の図書館関係職員を対象に、必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。	311
岡山県子どもの読書活動推進連絡会	図書館職員等一般	県内の子どもの読書活動を推進する関係者が一堂に会し、情報提供や意見交換を行う。	86

○県立図書館の機能充実等

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
図書資料の整備(再掲)	一般子ども	県民の資料要求に応えるとともに、市町村立図書館等のサービス活動を支援するため、児童図書を全点購入するなど新刊図書や視聴覚資料を整備する。 また、おかやま森づくり県民税や産業廃棄物処理税を活用し、森林に関わる図書資料や環境教育・環境学習に関わる図書資料を整備する。	75,990
図書館職員等研修講座(再掲)	図書館職員等	県内の図書館関係職員を対象に、必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。	311
岡山県公立図書館ネットワーク構築事業(再掲)	一般子ども	市町村立図書館等と連携・協力しながら、資料の検索や搬送(週2回)を充実させるとともに、高等学校図書館等への搬送事業(週1回)を実施するなど、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る。	14,212
県立図書館とことん活用講座(再掲)	一般	県立図書館の特色である主題別6部門の専門性を生かし、関係機関等と連携して様々なテーマで特色ある講座を開催することで、県民の課題解決を支援するとともに、図書館活用の拡大を図る。	246
有料データベース活用	一般	オンライン・データベースを契約し、提供することにより、利用者へ幅広い資料と情報の提供を行うとともに、職員のレファレンス業務の効率化を図る。	4,442
視覚障害者等への資料提供UD推進事業	一般	サピエ図書館へ会員登録し、豊富な資料を迅速に提供するとともに、サピエ図書館からダウンロードしたデータをCD-RW、SDカードなど利用方法に応じた媒体で貸し出す。	270
ボランティアスキルアップ講座	一般	県立図書館及び県内公共図書館・学校等でボランティア活動を行う者に対し、必要な心構え、専門的技術と知識を習得するための講座を実施する。	261
岡山県子どもの読書活動推進連絡会(再掲)	図書館職員等一般	県内の子どもの読書活動を推進する関係者が一堂に会し、情報提供や意見交換を行う。	86

6 教育効果を高める基盤や体制の整備・充実

(1) 活力ある小・中学校づくり

地域との協働関係を生かし、地域の実情を踏まえた魅力あるカリキュラムの導入等について支援を行います。また、設置者である市町村が学校の適正規模化や学校種間の連携の在り方等を検討するに当たって、ニーズや実情を踏まえた指導・助言を行うとともに、学校統合を行う場合や小規模校を存続させる場合等について支援を行います。

○地域の実情を踏まえた活力ある学校づくり

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
夢への原動力構築事業 新規	保・幼・こ 小、中	幼児期の育ちと学びが小・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、モデル地区（2中学校区）において伴走支援体制を構築する。	980
生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業 新規	中	公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援し、中学生が自身の個性や創造力を伸ばす力を育成する。	2,626
おかやま夢発信・交流事業	小、中	小・中学生が地域の多様な「人・もの・こと」と関わりながら主体的かつ探究的な学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を部門ごとに表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。	377
教育機会の確保に関する調査研究事業	教委	義務教育未修了者や不登校経験者等の教育機会の確保に向け、中学校夜間学級等の学び直しの場の提供について、市町村教委や関係機関等と情報共有・調整を行うとともに、先進事例を調査する。 また、学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）について、他県等の情報を収集し、市町村教委に情報共有を行う。	335
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業	教委	コミュニティ・スクール（CS）について豊かな知識と実践を有する者を「CSアドバイザー」として市町村や研修会に派遣して支援することで、CSの導入促進や質的向上等を目的とした「伴走支援」を進める。	293
学校における「地域連携担当」の活動推進	小、中 特	教職員に対して担当者研修会の実施及び地域学校協働活動に関する情報提供の機会を設け、地域とともにある学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	- (運営費で対応)

○小規模小・中学校への支援

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
小規模小・中学校への支援	小、中	教育の機会均等と教育水準の維持向上に向け、小規模校のデメリットを最小化し、メリットを最大化する方策の検討・研究を支援するとともに、教職員の全県的な視野に立った人事配置、小規模校や複式学級支援のための教員や非常勤講師の配置などに努める。	- (運営費で対応)

○学校の再編を検討・実施する市町村への支援

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
学校の再編を検討・実施する市町村への支援	教委	小・中学校の再編等に関して校舎等の整備に係る技術的な助言、施設整備やスクールバスの購入、遠距離通学費等の国庫補助制度に関する情報提供を行うとともに、再編支援のための加配等の支援に努める。	- (運営費で対応)

(2) 高等学校段階における教育の充実

新しい教育内容の研究や学校 I C T 環境をはじめとした施設・設備の整備を進め、地域や地元自治体・大学等との連携・協働を推進することで、時代の変化に対応した人材育成に資する、魅力ある高等学校づくりを推進します。

また、再編整備アクションプランに基づく教育体制の整備を行うとともに、社会情勢の変化や多様化する生徒のニーズに対応した次期岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の策定に向け、高等学校教育研究協議会を新たに設置します。

○魅力ある高等学校づくりの推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
学校経営予算	中、高	校長が弾力的に運用できる予算制度として、校長の裁量権を発揮させることで各学校の教育目標の達成を図る。学校規模等に応じて配分する「基本配分枠」、県が設定した教育課題に取り組む「重点事業枠」により、各学校の事業を推進する。	63,816
おかやま高校生地域未来創造事業	高	高校生が中山間地域等において地域の課題解決に取り組むことにより、地域への愛着心醸成と地域貢献の意欲向上を図り、中山間地域で活躍する次代の人材を育成する。	4,500
「高い志」醸成プロジェクト	高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、他校の生徒と切磋琢磨する中で、「高い志」の醸成と「高い学力」の育成を図る。	1,865
スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業	高	環境教育を重点的に行う学校を2校指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図る。	2,695
オンライン国際交流コーディネーター配置事業	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学生数の増加に繋げる。	1,621
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 日常的に外国語でコミュニケーションをとる機会や多様な価値観に触れる機会を増加させるため、海外からの留学生受入支援金の対象者を増加。	20,972
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要な I C T 機器の整備等の環境整備を行う。	300,500

高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業	高	高校と地元自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。	17,292
STEAM教育推進プロジェクト 新規	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215
学校評議員の設置	県立学校	学校運営や教育内容について保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるため、県立学校において学校評議員制度の充実を図る。	1,398
コミュニティ・スクール(CS)の導入	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。	5,244
多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業(フレックス制の展開) 拡充	高	フレックス制(全日制高校に在籍したまま、通信制高校の一部の科目を履修し、卒業を目指す)で入学した生徒に対し、教室とは別の場所や教員との橋渡しの役割を担う職員を配置することで、登校・進学意欲が継続できる環境を整え、学校生活や学習を支援する。	21,755
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579
学校における「地域連携担当」の活動推進(再掲)	県立学校	教職員に対して担当者研修会の実施及び地域学校協働活動に関する情報提供の機会を設け、地域とともにある学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	- (運営費で対応)

○県立高等学校の教育体制整備

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校教育体制整備研究推進事業	高	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(H31.2.15)に基づき、高等学校教育体制整備を推進する。	1,321

再編整備アクションプランに基づく再編整備の検討 新規	高	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画に係る再編整備基準に該当した学校について、令和6年度末に策定した、「再編整備アクションプラン」に基づき、県教委・関係校・地元自治体等からなる検討組織において、再編整備に係るより詳細な内容を検討する。	1,589
岡山県高等学校教育研究協議会 新規	高	令和20年度を目途とする県立高等学校教育体制の整備について、研究協議を行う。	2,278

(3) 企業・地域団体等との連携

専門的な知見・資源を有する大学等高等教育機関をはじめ、企業、公益法人、NPOなど民間団体等と連携を図り、学校や地域における子どもたちの学習活動の充実に努めます。

○企業等との連携

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
産業界と連携した「リアルな学び」推進事業 新規	高	学校と産業界等との連携が円滑に行えるようサポートする連携コーディネーターを県教委に配置する。	1,329
産業界と連携した学びの充実(連携協議会の開催)	高	県内の経済6団体との包括連携協定に基づき、県立高校等における産業界と連携した専門的かつ協働的な学びの充実を図る。	- (運営費で対応)
STEAM教育推進プロジェクト(再掲)	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
夢育パートナーズ推進事業	幼・こ 小、中 高、特 一般	子どもたちが「夢」や「目標」を見つけるきっかけとなる活動をしている企業や団体を「夢育パートナーズ」として登録し、学校や地域と連携し、子どもたちの豊かな体験活動の充実を図る。	74

○大学等との連携

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
「教師への道」インターンシップ事業	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。	- (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。	239
STEAM教育推進プロジェクト(再掲)	高	大学、企業、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校、DXハイスクール指定校、スマート専門高校などで構成する「STEAM教育研究推進委員会」を設置し、STEAM教育の深化を図る。	10,000
岡山県生涯学習大学事業	子ども 一般	連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、多世代にわたる総合的な学習機会を提供する。	1,521

次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲)	高	高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見いだし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。 ①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。 ②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。 ③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。 ④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。 ⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。	8,215
-------------------------	---	---	-------

(4) 子どもたちの安全の確保

事故の要因となる学校環境や子どもたちの学校生活等における行動の危険を早期に見し、それらを速やかに除去するとともに、万が一、事故が発生した場合に、適切な応急手当や安全措置ができる体制を確立するなど、子どもたちの安全の確保に向けた取組を推進します。また、日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質能力の育成につながる安全教育の充実を図ります。

○生活安全の推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立学校の長寿命化改修	高、特	老朽化した学校施設の環境改善(環境整備)を目的とした長寿命化改修工事を実施し、学校施設の経年劣化の改善や機能向上等を推進する。	976,751
学校安全推進事業	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。	1,119

○交通安全の推進

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
学校安全推進事業(再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。	1,119

○災害安全の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成研修等 新規	高	高校生に対し、災害発生時に救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できるボランティアリーダーの養成研修を実施する。	222
学校安全推進事業 (再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。	1,119

○非常時に備えた危機管理体制の充実

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
教職員による災害時相互応援体制構築事業	幼・こ 小、中 高、特	「災害時学校支援チームおかやま」チーム員を養成するための講座を実施し、受講者を40名程度募集する。災害時は被災地の学校にチーム員を派遣し、被災地の学校教育の早期再開や児童生徒の心のケアを支援する。平時には防災研修会の講師としてチーム員を派遣し、県内の学校防災力の向上を図る。	1,353
学校安全推進事業 (再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。	1,119

(5) 学校における働き方改革の推進

保護者や地域関係者等の理解を得ながら、各教育委員会及び各学校がそれぞれ主体的に学校における働き方改革を推進し、教職員の心身の健康維持とワーク・ライフ・バランスを実現させ、日々の生活の質の向上と教職人生の充実を図ることで、教職員が生き生きと教育活動を行うことができるようにし、教育の質の維持・向上及び、教育を受ける児童生徒の豊かな成長につなげます。

○働き方改革の推進

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
デジタル採点システムの活用	県立 中、高	全県立高等学校等へ導入したデジタル採点システムを活用することで、教員の勤務負担軽減を図り、本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	7,656
保護者連絡システムの活用	県立学 校	全県立学校へ導入した保護者連絡システムを活用することで、教員の勤務負担軽減を図り、本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	7,284
教師業務アシスタント配置事業	小、中	印刷や調査統計などの教員が抱える事務作業等を支援する非常勤のアシスタントを全ての公立小中学校に配置し、教員が本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	316,345
教頭マネジメント支援 新規	中	授業を担当する教頭がいる中学校のうち3校に対し、非常勤講師を配置し、授業を担当することで、教頭が学校全体のマネジメントに専念できる環境の整備充実を図る。	- (人件費で 対応)

県立高校入試の更なるDX化促進事業	中、高	インターネット出願システムを利用した出願方法により、出願・手数料納付の手続きを簡素化するとともに、高校入試の調査書についてシステムからの提出とすることで、教員の更なる業務負担軽減を図り、教員が生徒の指導や教材研究等に専念できる環境を整備する。	29,980
部活動指導員配置事業 拡充	中、高特	教員に代わって部活動指導を行う指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、中学校の休日部活動の地域連携を進める。 【拡充内容】※休日配置は新設 市町村立学校配置数 通常:196人→226人 休日:60人→104人 県立学校配置数 通常:27人→58人 休日:8人(県立中学校)	101,477
労働安全衛生管理の充実	県立学校教育機関 本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。	33,645

○教職員の健康管理

R7の取組	対象	内容	予算額(千円)
労働安全衛生管理の充実(再掲)	県立学校教育機関 本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。	33,645
「からだ」の健康管理対策	小、中高、特 教育機関 本庁	生活習慣病に関する健康情報の提供や健康づくりセミナーの実施等により教職員の健康の保持増進を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により疾病の発症や重症化予防を図るため、定期健康診断・人間ドック・器官別健診・特定保健指導等を実施する。	92,806 (共:449,068) (互:137,412)
「こころ」の健康管理対策	小、中高、特 教育機関 本庁	新規採用教育職員へのカウンセリングの実施、ストレスチェックの実施や研修会の開催等により、セルフケアや管理監督者による適切なラインケアを促進し、精神疾患等の未然防止を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により、精神疾患等の重症化予防を図るため、精神科医・臨床心理士・教員OB等の各種相談窓口を設置する。	16,167 (共:5,863)
休職者の職場復帰対策 (円滑な復職・再発防止対策)	小、中高、特 教育機関 本庁	「岡山県教職員健康診断審査委員会」において、休職・復職等に際しての健康状態の診断及び審査等を実施し、適切な健康管理に万全を期する。また、精神疾患等による休職者に対しては、「岡山県教職員復職支援システム」に基づき、復職の際の「復職プログラム」の実施等、休職中から復職後まで所属における職場復帰の取組を支援する。	3,495

※共：公立学校共済組合岡山支部 互：(一財)岡山県教育職員互助組合 で予算措置

(6) 魅力ある人材の確保・育成

教職員には、強い使命感や社会性、実践的指導力など、様々な教育課題に適切に対処できる資質能力が求められるため、人間性豊かで自身が夢や目標を持ち、学び続ける魅力ある人材の確保や、採用後研修の充実、適切な人事管理等を行います。

○魅力ある人材の確保

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
奨学金返還支援事業	一般	本県の公立小学校教員として10年を超えて就業する予定の者を対象に、大学卒業前2年間に貸与を受けた奨学金に相当する額を支給し、本県の教員を志望する大学生等の増加を図る。	- (R8年度から執行予定)
公立学校教員採用試験	大学生 一般	優れた人材を確保できるよう、岡山県公立学校教員採用候補者の選考資料とするため、公立学校教員採用試験を実施する。	7,162
新規採用教員の後補充の拡充 新規	大学生 一般	小学校の新規採用者が週1日程度授業を受け持たなくてもよい日ができるよう、非常勤講師の配当時間を増やし、本県の小学校教員を志望する大学生等の増加を図る。	- (人件費で対応)
「教師への道」インターンシップ事業(再掲)	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。	- (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会(再掲)	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。	239

○キャリアステージに応じた人材の育成

R 7 の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山大学・香川大学教職大学院への派遣	小、中 高、特	大学、県市町村教育委員会との緊密な連携の下、現職教員を12名程度教職大学院へ派遣し、大学院での本県教育課題の解決に資する政策課題の研究を通して、中核的教員の育成と本県教育の充実を図る。	7,065
岡山県・岡山市教員等育成協議会(再掲)	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。	239

令和6年度から令和7年度にかけての事業整理表

事業名		
令和6年度		令和7年度
産業教育等施設整備事業	→	(廃止) 事業終了
グローバル・リーダー育成拠点構築事業	→	(廃止) 事業終了
コミュニティ・スクール導入促進のためのコンソーシアム設置事業	→	(廃止) モデル校で得られた成果を普及
岡山型課題解決型学習（PBL）推進事業	→	(廃止) モデル校で得られた成果を普及
「君に届け！」夢への架け橋事業	→	(廃止) 事業終了
通級による指導におけるICT活用研究事業	→	(廃止) モデル校で得られた成果を普及
特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア	→	(休止) 令和8年度に開催予定
高等学校における合理的配慮充実事業	→	(廃止) モデル校で得られた成果を普及
「学校部活動方針」実践推進事業	→	(廃止) モデル校で得られた成果を普及
学校安全総合支援事業	→	(廃止) 事業終了
ヘルメットイメージ向上事業	→	(廃止) 事業終了
学び直し推進事業	→	(廃止) 事業終了
若者発！まちプロ	→	(廃止) 事業終了
県内庭園調査	→	(廃止) 事業終了
みんなで楽しもう！民俗芸能	→	(休止) 令和8年度に開催予定
「県立図書館フェスタ」事業(開館20周年記念事業)	→	(廃止) 事業終了
古代吉備文化財センター開所40周年記念事業	→	(廃止) 事業終了

新規事業

事業名	関連頁	事業名	関連頁
夢への原動力構築事業	p15他	高等学校における自立応援室設置促進研究事業	p31
生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業	p15他	幼稚園等における特別支援教育パワーアップ事業	p40
STEAM教育推進プロジェクト	p15他	高校通級スペシャル応援団派遣事業	p40
産業界と連携した「リアルな学び」推進事業	p16他	おかやまインクルーシブな学校運営モデル事業	p40
ココロうごく未来のジブン～見て・聞いて・出あって・話して あなたから学ぶことの楽しさを知る～	p17	岡山県祭り・行事調査事業	p50他
生成AIを活用した学びのサイクル実証事業	p18他	再編整備アクションプランに基づく再編整備の検討	p56
AIを活用した高校生の英語4技能向上プロジェクト	p19他	岡山県高等学校教育研究協議会	p56
GIGAスクール端末等の整備	p19	高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成研修等	p58
安心安全な部活動推進事業	p27	教頭マネジメント支援	p58
食に関する健康課題対策支援事業	p29	新規採用教員の後補充の拡充	p60

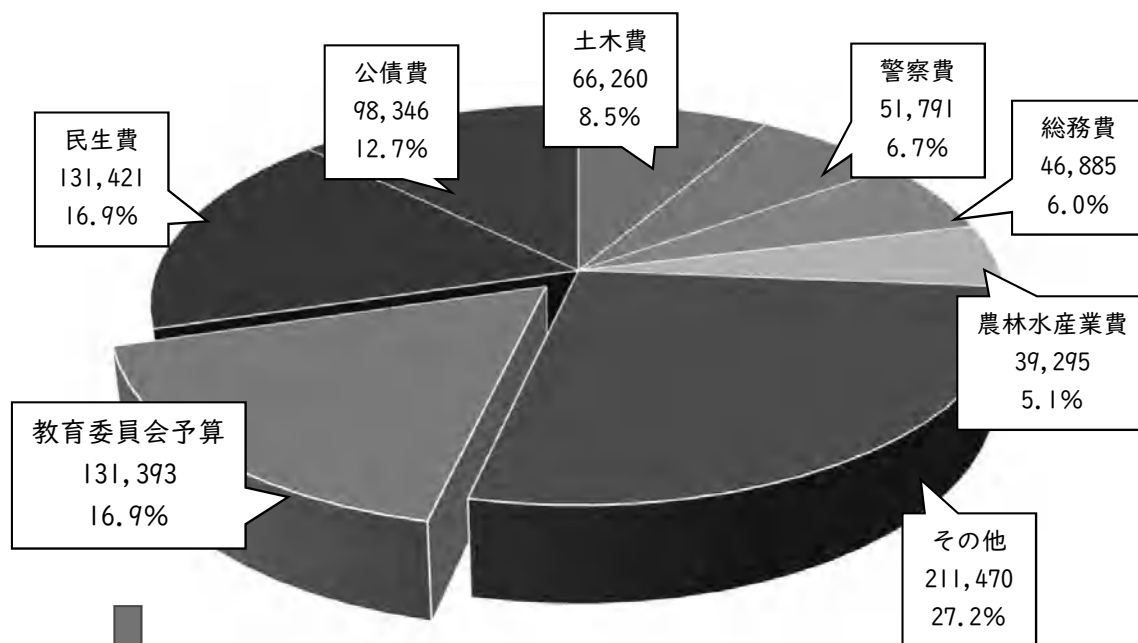
拡充事業

事業名	拡充内容	関連頁
高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）	新規採択校を10校程度追加	p19他
心と命のサポート事業	出前授業の派遣回数増：105回→135回	p22
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業	SSWの配置人数増：25人→28人	p23他
「部活動の地域移行」推進事業	実証研究実施市町村の増：7市町→12市町村程度	p27他
令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業	開催年度にあたり、成功のための取組をさらに推進する	p27
令和8年度全国中学校体育大会開催事業	開催を翌年度に控え、成功のための取組をさらに推進する	p27
県立学校人権教育サポート事業	担当者研修会の回数増：年1回→年2回 学校訪問研修会を年15回実施	p30
心の居場所推進プロジェクト	自立応援室の設置校数増：小学校 18校→●校 中学校 44校→○校	p31他
多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業	設置箇所数の増：1校→2校 県立岡山御津高校においてフレックス制を導入	p33他
地域学校協働活動推進事業	地域学校協働活動推進員への謝金の補助対象者数増：20名→25名	p35
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業	海外からの留学生受入支援金の対象者を増加	p43他
小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやま まなびとサーチ」 夢育コンテンツ強化事業	学習用動画や、お仕事紹介動画等を15本程度作成	p48
部活動指導員配置事業	配置人数の増 市町村立：平日196人→226人 休日：60人→104人 県立学校：平日 27人→58人	p59

県予算と教育委員会予算

[単位：百万円]

	令和7年度 当初予算 A	令和6年度 当初予算 B	増減 A－B	対前年度比 A／B
県予算（一般会計）	776,861	750,551	26,310	103.5%
教育委員会予算	131,393	130,553	840	100.6%



<目的別の割合>

小学校費	30.4%
中学校費	17.0%
高等学校費	27.9%
特別支援学校費	11.1%
教育総務費	11.1%
社会教育費	1.9%
保健体育費	0.6%

<分類別の割合>

人件費	84.9%
投資的経費	1.7%
一般行政経費等	13.4%

教職員定数

	令和7年度				令和6年度				増減
	教員	事務職員	その他	計	教員	事務職員	その他	計	
事務局等		362		362		364		364	▲ 2
小学校	4,569	285	61	4,915	4,606	295	65	4,966	▲ 51
中学校	2,489	132	31	2,652	2,498	135	32	2,665	▲ 13
定時制高校	204	8	2	214	199	8	2	209	5
全日制高校	2,496	304	233	3,033	2,500	304	233	3,037	▲ 4
特別支援学校	1,261	91	43	1,395	1,260	91	43	1,394	1
計	11,019	1,182	370	12,571	11,063	1,197	375	12,635	▲ 64

知事部局等の関連事業

総務部

私立学校の安定的な経営のための私学助成拡充〔20億1,606万円〕

私立学校の安定的経営の推進に資するため、私学助成を拡充します。

- 奨学のための給付金の給付額等の拡充
非課税世帯を対象に私立高校生等への支給額を増額するとともに支給対象を拡充
・全日制等（第一子）
年額14万2,600円→15万2,000円
・専攻科（年収約270万円以上～600万円未満）
非課税世帯への給付額の1/5（新設）
※専攻科については多子世帯のみ、年収約380万円以上～600万円未満世帯も給付対象
- 高等学校専攻科の生徒への就学支援金の拡充
私立高校専攻科に通う多子世帯の生徒に対し、所得制限なく就学支援金を支給
・支給額（年額） 427,200円
- 高等教育の修学支援の充実
岡山県立大学や私立専門学校に通う多子世帯の学生について、授業料等を所得制限なく無償化するために要する経費を補助
- 私立学校教育改革等推進補助金
私立学校の外国人入学生受入れのための環境整備を補助メニューに追加
- 私立幼稚園教諭の処遇改善の推進
幼児教育の質の向上のため、専修免許状・一種免許状を取得する幼稚園教諭等を対象とした処遇改善を支援
- 私立高校生留学支援事業の継続
令和10年度まで事業を継続し、私立高校生の留学を促進
〈総務学事課〉

県民生活部

未来をつくるグローバルチャレンジ応援事業

〔1,546万円〕

留学促進フェアや産学官が連携した奨学金等により、県内学生等の海外留学を促進し、グローバル人材の育成を図ります。

- 留学促進フェア
- 高校、大学と連携した海外留学魅力PR事業
- 国際交流員等による出前講座
- 未来ヘトビタテ！おかやま留学応援事業
- 大学等の協定締結拡大支援
- 地元経済界からの支援拡大
〈国際課〉

子どもの安全力向上推進事業

〔46万円〕

小学校での安全学習、地域安全マップづくり出前授業、防犯ボランティアによる防犯教室の実施等により、安全意識の向上を図ります。

〈くらし安全安心課〉

地域防犯指導者・リーダー育成研修

〔54万円〕

地域の防犯ボランティア等を対象とした研修を行い、子どもの安全確保に向けた自主防犯活動を支援します。

〈くらし安全安心課〉

環境文化部

環境学習推進事業

〔3,581万円〕

県民や事業者、NPOなど環境団体等と協働して体験型環境学習の充実を図るなど、実践的かつ総合的・効果的な環境学習を促進します。

- 環境学習出前講座の実施
- 環境学習エコツアー事業
・資源循環を推進している先進的企業や廃棄物処理施設、エネルギー関連施設等の環境関係施設を見学、体験する環境学習エコツアーを実施
〈脱炭素社会推進課〉

地域クラブ活動環境整備事業

〔722万円〕

休日の学校部活動の段階的な地域移行にあたり、その課題解決に向け、市町村、関係団体等との情報共有等を図るとともに、人材バンクの充実による地域の指導者の確保等を進めることで、地域クラブ活動の環境整備を進めます。

- 市町村等支援事業
- 指導者の育成・登録促進等体制整備事業
〈スポーツ振興課・文化振興課〉

おかやま子どもみらい塾事業

〔458万円〕

子どもたちが、「本物の文化芸術」を体験することで、文化に親しみ、関心を持つきっかけづくりとするため、文化芸術の専門家を学校に派遣します。

〈文化振興課〉

おかやま次世代アスリート事業

〔1,284万円〕

主に小学生から高校生の育成・強化のため、体験会の開催や競技会へのアスレティックトレーナー等を派遣します。

〈スポーツ振興課〉

つくろう・のぼそう！スポーツプロジェクト

〔295万円〕

児童生徒、ジュニアアスリートに対する多角的な支援体制を充実させます。

〈スポーツ振興課〉

子ども・福祉部

子ども虐待防止総合強化事業〔1億3,188万円〕

困難な状況にある子どもや家庭を支援するため、各機関の機能強化を図るとともに、子どもの権利に基づいた施策を推進します。

- 虐待防止の意識醸成
 - ・ 児童虐待防止対策推進事業
- 市町村の機能強化
 - ・ 市町村こども家庭センターサポート事業
 - ・ 子育て家庭支援基盤整備事業
 - ・ 子育て家庭相談等支援基盤整備事業
- 児童相談所の機能強化
 - ・ 児童相談所業務効率化促進事業
- 里親委託等の推進
 - ・ 里親養育包括支援事業
- 社会的養護経験者等の自立支援
 - ・ 社会的養護自立支援拠点事業

〈子ども家庭課〉

青少年健全育成・非行対策事業〔2億5,779万円〕

家庭、学校、地域と連携して青少年の健全育成を進める県民運動を展開するなど、青少年が健やかに育つ社会づくりに取り組みます。

- 青少年健全育成推進事業
 - ・ 青少年育成県民運動推進事業
 - ・ 青少年のスマホ・ネット利用のルールづくり促進事業
 - ・ 広域補導
 - ・ 青少年相談員制度の充実・強化
- 青少年健全育成に向けた講師派遣事業
- おかやま子ども・若者育成支援事業
 - ・ 子ども・若者育成支援ネットワーク事業
 - ・ 青少年総合相談センターにSNSを活用した相談窓口を設置

〈子ども家庭課〉

産業労働部

科学技術振興事業〔92万円〕

科学系サークル活動を行う中高生に研究発表の場を提供する研究発表コンテスト「集まれ！科学への挑戦者」を開催します。〈産業振興課〉

高校生のものづくり技能取得支援事業

〔417万円〕

工業系高校生の技能検定合格に向けた支援を実施し、産業の担い手を育成します。

- ・ 県高等学校工業教育協会へ練習用材料費の一部を補助
- ・ 低所得者世帯の高校生の技能検定実技試験受検料を全額免除
- ・ 県内高校生が受検する技能検定実技試験手数料を減免

〈労働雇用政策課〉

おかやまテクノロジー展開催事業〔5,668万円〕

県内機械系ものづくり関連企業の新技術・製品開発力・製品等を広くアピールすることで、県内外の大手メーカーとのマッチング機会の創出や販路拡大を図るとともに、県内の大学生・高校生等が優れた技術を持つ県内企業を知る機会の創出と県内での就労意欲の醸成を図ります。

〈経営支援課〉

教育旅行誘致推進事業〔1,112万円〕

旅行事業者や教育機関などと連携した探求学習プログラムの開発により、本県教育旅行における定番商品を作成するとともに、デジタルマーケティングや市場分析によりターゲットエリアを選定した上で、積極的なセールスを実施し、教育旅行の誘致につなげます。

〈観光課〉

インバウンド向け学生ガイド育成事業

〔366万円〕

県内複数大学と連携し、大学生や外国人留学生を対象に、観光ボランティアガイド育成セミナーや、観光施設等でのインターンシップ等を実施します。

〈観光課〉

警察本部

輝け！岡山の未来を担う少年！！健全育成推進事業〔2,937万円〕

SNSに投稿された「犯罪実行者募集情報」や増加する薬物乱用事犯等から少年を守るための施策を推進します。

- 健全育成推進専門員の雇用による非行防止教室等の開催
 - ・ 健全育成推進専門員6名を雇用し、「犯罪実行者募集情報」や禁止薬物の危険性等についての非行防止教室を実施
- SNSを通じた「犯罪実行者募集情報」への加担防止等広報
 - ・ 少年に対する訴求力が高いSNSを活用し、「犯罪実行者募集情報」の危険性や悪質性に関する動画コンテンツを配信

〈少年課〉

県教育委員会の組織・分掌

教育委員会
教育長

教育次長

不祥事防止
対策チーム学校教育
推進監
高校魅力化
GIGAスクール構想
デジタル化

教育政策課		
人事班	(086)226-7568	職員の人事・給与・旅費・服務・研修、公務災害、表彰、文書、条例規則、市町村教委指導、教育行政相談、公印管守、教育関係法人
秘書広報班	(086)226-7569	委員会会議、秘書、請願陳情、高齢者叙勲、公聴広報
教育企画班	(086)226-7571	教育政策の企画・調査・総合調整、危機管理対策、教育委員会事務点検・評価、環境対策、調査統計
財務課		
財務班	(086)226-7572	予算編成執行、県議会関係事務、経理の集中管理、就学支援金等、就学援助費等国庫補助金・国庫支出金
給与管理班	(086)226-7573	教職員給与費、義務教育費国庫負担金
施設班	(086)226-7574	教育財産の取得・処分・管理、県立学校施設整備・営繕
助成班	(086)226-7576	公立文教施設整備費国庫負担金・交付金、公立学校施設整備指導、公立文教施設諸調査
教職員課		
給与免許班	(086)226-7579	教職員給与、教育職員免許状、職員団体事務、公務災害、教職員の争訟事務
義務教育人事班	(086)226-7581	教職員の人事・服務・定数管理、教職員の叙勲・表彰
高校教育人事班	(086)226-7582	
評価・企画班	(086)226-7915	教職員の人事評価、学校の組織運営に関する企画・調査、教職員採用試験、働き方改革、コンプライアンスの推進
高校教育課		
振興班	(086)226-7583	産振施設・設備、理振設備、定通修学奨励
指導班	(086)226-7585	高等学校・中等教育学校教育課程の指導、学力向上、グローバル化に対応した教育、教職員研修、教科書採択、キャリア教育
職業指導班	(086)226-7586	教育課程の指導、情報教育、教職員研修、教科書採択、キャリア教育
高校魅力化推進室		
管理班	(086)226-7578	県立中・高・中等教育学校の入学者選抜・通学区域、高校教育の機会確保
企画推進班	(086)226-7825	高等学校魅力化、高校教育体制整備、中高一貫教育、県立中・高・中等教育学校の学級編制・生徒募集定員、公立学校等の設置・廃止
教育情報化推進室		
	(086)226-7826	GIGAスクール構想、教職員のICT活用指導力向上、学校ICT環境整備、教育ヘルプデスク、情報セキュリティ、デジタル化の企画
義務教育課		
振興班	(086)226-7910	教育研究団体助成
指導班	(086)226-7584	小・中学校教育課程の指導、就学前教育の指導、小中一貫教育、心の教育、グローバル化に対応した教育、へき地教育、教科書採択、教職員研修、キャリア教育、市町村立幼・小・中学校の設置・廃止
学力向上プロジェクトチーム		
学力向上対策班	(086)226-7082	学力・学習状況調査、授業改革支援、補充学習支援
特別支援教育課		
振興班	(086)226-7587	特別支援教育就学奨励費
指導班	(086)226-7912	特別支援学校教育体制整備、就学指導、教育課程の指導、教職員研修、教科書採択、キャリア教育、生徒募集定員、入学者選抜、公立特別支援学校の設置・廃止
保健体育課		
振興班	(086)226-7590	災害共済給付金、学校医等の任免
健康・安全教育班	(086)226-7591	児童生徒の健康管理、学校保健安全指導、学校給食指導、防災教育
学校体育班	(086)226-7592	学校体育指導、体力づくり、運動部活動
全国高校総体推進班	(086)226-7599	令和7年度全国高等学校総合体育大会開催準備
生涯学習課		
振興班	(086)226-7595	社会教育関係補助金、社会教育施設整備、高等学校奨学金、高校卒業程度認定試験
企画推進班	(086)226-7596	生涯学習の振興、子ども読書活動の推進、ESD・ユネスコ活動、学校文化活動の促進
社会教育班	(086)226-7597	社会教育の振興、家庭教育、青少年教育、成人教育、社会教育委員、社会教育関係団体
文化財課		
文化財保護班	(086)226-7601	文化財の指定・保存・活用、文化財保護審議会、銃砲刀剣類登録
埋蔵文化財班	(086)226-7602	埋蔵文化財の調査・保存・活用
福利課		
福利厚生班	(086)226-7603	退職手当、児童手当、恩給、教職員住宅、財形貯蓄、個人型確定拠出年金、岡山宿泊所、共済組合、互助組合
健康管理班	(086)226-7604	教職員の健康管理
人権教育・生徒指導課		
振興班	(086)226-7611	高等学校等奨学金
人権教育班	(086)226-7612	人権教育の推進・指導・研修、指導資料の作成、指導者の養成
生徒指導班	(086)226-7589	生徒指導、いじめ・暴力行為対策、教育相談
不登校児童生徒支援班	(086)226-7916	長期欠席・不登校対策

教育事務所
岡山 (086)221-0529
津山 (0868)24-8702

中学校 3校

岡山操山	(086)272-9836	倉敷天城	(086)429-3494	津山	(0868)22-3301
------	---------------	------	---------------	----	---------------

高等学校 51校

岡山朝日	(086)272-1271	倉敷古城池	(086)455-5811	総社	(0866)93-0891
岡山操山	(086)272-1241	倉敷中央	(086)465-2559	総社南	(0866)93-6811
岡山芳泉	(086)264-2801	玉島	(086)522-2972	高梁	(0866)22-3047
岡山一宮	(086)284-2241	倉敷鷺羽	(086)472-2888	高梁城南	(0866)22-2237
岡山城東	(086)279-2005	倉敷工業	(086)422-0476	新見	(0867)72-2260
西大寺	(086)942-4150	水島工業	(086)465-2504	備前緑陽	(0869)63-0315
瀬戸	(086)952-1031	倉敷商業	(086)422-5577	邑久	(0869)22-0017
高松農業	(086)287-3711	玉島商業	(086)522-3044	勝山	
興陽	(086)296-2268	津山	(0868)22-2204	勝山校地	(0867)44-2628
瀬戸南	(086)952-0831	津山東	(0868)22-9307	蒜山校地	(0867)66-2016
岡山工業	(086)252-5231	津山工業	(0868)22-4174	真庭	(0867)52-0056
東岡山工業	(086)279-0565	津山商業	(0868)22-2421	林野	(0868)72-0030
岡山東商業	(086)272-1237	玉野	(0863)31-4321	鴨方	(0865)44-2158
岡山南	(086)224-2226	玉野光南	(0863)51-2311	和気閑谷	(0869)93-1188
岡山御津	(0867)24-0831	笠岡	(0865)62-5128	矢掛	(0866)82-0045
倉敷青陵	(086)422-8001	笠岡工業	(0865)67-0311	勝間田	(0868)38-3168
倉敷天城	(086)428-1251	笠岡商業	(0865)62-5245	鳥城	(086)251-9755
倉敷南	(086)423-0600	井原	(0866)62-0057		

総合教育センター
(0866)56-9101

中等教育学校 1校

岡山大安寺	(086)255-5013
-------	---------------

特別支援学校 14校

岡山盲	(086)272-3165	岡山南支援	(086)298-1090	健康の森学園支援	(0867)96-2995
岡山聾	(086)279-2127	岡山瀬戸高等支援	(086)952-5633	東備支援	(0869)66-8501
岡山支援	(086)275-1010	倉敷まきび支援	(086)697-1233	早島支援	(086)482-2131
岡山西支援	(086)243-4535	倉敷琴浦高等支援	(086)477-9301	誕生寺支援	(0867)28-2321
岡山東支援	(086)279-3020	西備支援	(0865)63-1603	弓削校地	(0867)28-2828

教育に関する相談窓口一覧

○岡山県総合教育センター

・不登校、いじめなど学校生活に関すること ・学業に関すること ・家庭教育に関すること など	(0866)56-9115
・発達障害など発達に関すること ・障害のある子どもの学習面などの学校生活に関すること ・障害のある子どもの家庭生活に関すること など	(0866)56-9117

○岡山県青少年総合相談センター～ハートフルおかやま110～

総合相談窓口	(086)224-7110 メール：sodan110@pol.oninet.ne.jp LINE：@hfokayama
教育相談	(086)221-7490
進路相談	(086)224-1121
ヤングテレホン・いじめ110番	(086)231-3741 メール：youngmail@pref.okayama.jp

○いじめに関する相談

24時間子どもSOSダイヤル	0570-0-78310
----------------	--------------

○特別支援教育に関すること

岡山県総合教育センター	(0866)56-9117
岡山県福祉相談センター	(086)235-4152

○生涯学習、体験・ボランティア活動に関すること

岡山県生涯学習センター	(086)251-9750
体験・相談コーナー、学習相談	(086)251-9758

○教育行政相談に関すること

教育行政相談窓口（県教育庁教育政策課内）	(086)226-7909
----------------------	---------------

○教職員の健康に関すること

こころとからだの健康相談	(086)235-8349
--------------	---------------

○学校・教職員に対する保護者や地域等からの相談、苦情や要求等に関する法律相談

岡山型スクールロイヤー制度	(086)223-4401（※）
---------------	------------------

※制度利用にあたっては、県立学校は県教育委員会に、市町村（組合）立学校は
所管の教育委員会に連絡してください。

生涯学習センター
(086)251-9750

県立図書館
(086)224-1286

県立博物館
(086)272-1149

古代吉備文化財センター
(086)293-3211

指定管理者による

渋川青年の家
(0863)81-8039

青少年教育センター閑谷学校
(0869)67-1427

特別史跡旧閑谷学校
(0869)67-9900

新岡山県不登校総合対策

OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト
～誰一人取り残されない岡山県の教育に向けて～



教員用リーフレット



保護者・子ども用リーフレット



岡山県教育委員会公式note更新中!!